

令和5年度

3年生

# 授業展開計画

滋賀県立甲西高等学校

# 目 次

	ページ
1 国 語	
(1) 現代文 (文系) .....	1
(2) 現代文 (理系) .....	3
(3) 古典B .....	5
(4) 古典演習 .....	7
(5) 国語演習 .....	8
2 地歴・公民	
(1) 世界史演習1 .....	9
(2) 日本史演習1 .....	10
(3) 世界史演習2 .....	11
(4) 日本史演習2 .....	12
(5) 地理B .....	13
(6) 政治・経済 .....	15
3 数 学	
(1) 数学Ⅲ .....	17
(2) 数学演習A (文系1) .....	19
(3) 数学演習A (文系3) .....	20
(4) 数学演習B .....	21
4 理 科	
(1) 物 理 .....	23
(2) 化 学 .....	25
(3) 生物 (文系1) .....	27
(4) 生物 (文系3) .....	29
(5) 生物 (理系) .....	31
(6) 地 学 .....	33
5 保健体育	
(1) 体 育 .....	35
6 芸 術	
(1) 音楽芸術 .....	36
(2) 素描油彩 .....	38
(3) 書道芸術 .....	39
7 家 庭	
(1) ライフデザイン .....	40
8 外国語	
(1) コミュニケーション英語Ⅲ .....	42
(2) 英語表現Ⅱ .....	44
(3) 英語演習 .....	46

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
国語	現代文	3年	文系	必修	4
学習の目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。 ①論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ②文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ③語彙力、表現力の充実をはかる。 ④様々なテーマを通して、人間および社会に対する理解を深める。				
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び副教材を使用し、授業を進めていく。</li> <li>・漢字の小テストを週に2回行う。</li> <li>・速読トレーニング(1500字)を週に2回行う。</li> </ul>				
使用教材	「精選現代文B 新訂版」(大修館書店)「錬成現代文」(尚文出版) 「(改訂版)共通テスト対策 現代文完答22」(尚文出版) 「即戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習三訂版」(桐原書店)「日本文学史必携」(第一学習社) 「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	評論 「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人はそれぞれが持つ才能を周囲に還元していくべきだという文章を、各段落相互のつながりを意識しながら読む。</li> <li>・本文の視点をとらえるとともに、それを参考にしながら思考を深める。</li> </ul>	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえる。</li> <li>・具体例の効果や主張の位置づけについての的確にとらえる。</li> <li>・「ノブレス・オブリージュ」「贈与と返礼のメカニズム」という言葉を手がかりに、社会の中の自分の役割を考える。</li> </ul>	
5月					
6月	評論 「こころは見える？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころ」のあり方について、自分の考えと引き比べながら文章を読む。</li> <li>・筆者の主張を要約する。</li> </ul>	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開や事例の意味を的確にとらえながら読む。</li> <li>・筆者の発想をとらえながら読み、発想の転換によって生じる多角的な視点を身につける。</li> <li>・筆者の主張を整理し、要約する。</li> </ul>	
7月	俳句 「俳句 十五句」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読して、作品の雰囲気や情景を把握する。</li> <li>・俳句の鑑賞を通して、豊かな感受性や想像力を養う。</li> <li>・各俳人の作風や主張を理解する。</li> </ul>			

<p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p>	<p>小説 「檸檬」</p> <p>入試過去問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心の移り変わりに注意して作品を読み深める。</li> <li>・作品の結末の意味について考える。</li> <li>・時代背景や文学思潮をとらえて小説の読み方に発展させる。</li> </ul> <p>・大学の過去問を実力で解き、出題されている問題について分析・検討する。</p>	<p>中間考査</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に描かれた美的世界を味わい、作者の繊細な感性をとらえようとしている。</li> <li>・檸檬を手に入れたことで「私」の気持ちがあつどのように変化したかをとらえている。</li> <li>・丸善に檸檬を置いてきた「私」の意図と、その後の「私」の気持ちを想像している。</li> </ul> <p>・設問の意図を正確に捉え、解答を作成する。</p> <p>・意識的に根拠を探しながら問題を解き進める中で、共通試験や各大学の一般入試に対応できる力をつける。</p>
<p>成績・評価 について</p>	<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>・それぞれの学習状況について、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解」の5つの観点から評価し、1学期、2学期、3学期の成績を総合的に判断して、年間の学習成績とします。</p> <p>【各学期ごとの評価方法】</p> <p>・単元ごとの漢字などの小テスト、課題・課題考査・定期考査などの成績を総合して評価します。</p> <p>・学習活動への参加態度（発表態度を含む）・提出物も評価の対象です。</p>			
<p>先生からの アドバイス</p>	<p>確かな学習を身に付けるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当然のことながら、漢字や語句について日頃から意識を持ち、継続的に学習する習慣を付けましょう。</li> <li>・読解力を高めるには読書量がものを言います。読む習慣をつけましょう。</li> <li>・ニュースに関心を持ち、自分を取り巻く時代の出来事に対して自身の考えを持ちましょう。</li> </ul> <p>授業を受けるに当たって守って欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を始め、補足教材・国語辞典、国語ガイド等、学習に必要なものを忘れずに用意しましょう。</li> <li>・ノートを用意し、板書内容、あるいは重要注意事項はきちんと書きましょう。</li> <li>・課題は提出日をきちんと守ってください。提出しなければ評価はできません。</li> <li>・意見を言う場面では思ったことを積極的に発言してください。その態度も評価対象です。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
国語	現代文	3年	理系	必修	2
学習の目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。 ①論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ②文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ③語彙力、表現力の充実をはかる。 ④様々なテーマを通して、人間および社会に対する理解を深める。				
学習の進め方	・教科書及び副教材を使用し、授業を進めていく。 ・漢字の小テストを週に1回行う。 ・速読トレーニング(1500字)を週に1回行う。				
使用教材	「精選現代文B 新訂版」(大修館書店)「錬成現代文」(尚文出版) 「(改訂版)共通テスト対策 現代文完答22」(尚文出版) 「即戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習三訂版」(桐原書店)「日本文学史必携」(第一学習社) 「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	評論 「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」	・人はそれぞれが持つ才能を周囲に還元していくべきだという文章を、各段落相互のつながりを意識しながら読む。 ・本文の視点をとらえるとともに、それを参考にしながら思考を深める。	中間考査	・論理的な文章を読んで論理の展開や構成を的確にとらえる。 ・具体例の効果や主張の位置づけについての的確にとらえる。 ・「ノブレス・オブリージュ」「贈与と返礼のメカニズム」という言葉を手がかりに、社会の中の自分の役割を考える。	
5月					
6月	評論 「こころは見える？」	・「こころ」のあり方について、自分の考えと引き比べながら文章を読む。 ・筆者の主張を要約する。	期末考査	・論理の展開や事例の意味を的確にとらえながら読む。 ・筆者の発想をとらえながら読み、発想の転換によって生じる多角的な視点を身につける。 ・筆者の主張を整理し、要約する。	
7月	俳句 「俳句 十五句」	・朗読して、作品の雰囲気や情景を把握する。 ・俳句の鑑賞を通して、豊かな感受性や想像力を養う。 ・各俳人の作風や主張を理解する。			

<p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p>	<p>小説「檸檬」</p> <p>入試過去問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心の移り変わりに注意して作品を読み深める。</li> <li>・作品の結末の意味について考える。</li> <li>・時代背景や文学思潮をとらえて小説の読み方に発展させる。</li> </ul> <p>・大学の過去問を実力で解き、出題されている問題について分析・検討する。</p>	<p>中間考査</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に描かれた美的世界を味わい、作者の繊細な感性をとらえようとしている。</li> <li>・檸檬を手に入れたことで「私」の気持ちがあつたかのように変化したかをとらえている。</li> <li>・丸善に檸檬を置いてきた「私」の意図と、その後の「私」の気持ちを想像している。</li> </ul> <p>・設問の意図を正確に捉え、解答を作成する。</p> <p>・意識的に根拠を探しながら問題を解き進める中で、共通試験や各大学の一般入試に対応できる力をつける。</p>
<p>成績・評価について</p>	<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>・それぞれの学習状況について、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解」の5つの観点から評価し、1学期、2学期、3学期の成績を総合的に判断して、年間の学習成績とします。</p> <p>【各学期ごとの評価方法】</p> <p>・単元ごとの漢字などの小テスト、課題・課題考査・定期考査などの成績を総合して評価します。</p> <p>・学習活動への参加態度（発表態度を含む）・提出物も評価の対象です。</p>			
<p>先生からのアドバイス</p>	<p>確かな学習を身に付けるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当然のことながら、漢字や語句について日頃から意識を持ち、継続的に学習する習慣を付けましょう。</li> <li>・読解力を高めるには読書量がものを言います。読む習慣をつけましょう。</li> <li>・ニュースに関心を持ち、自分を取り巻く時代の出来事に対して自身の考えを持ちましょう。</li> </ul> <p>授業を受けるに当たって守って欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を始め、補足教材・国語辞典、国語ガイド等、学習に必要なものを忘れずに用意しましょう。</li> <li>・ノートを用意し、板書内容、あるいは重要注意事項はきちんと書きましょう。</li> <li>・課題は提出日をきちんと守ってください。提出しなければ評価はできません。</li> <li>・意見を言う場面では思ったことを積極的に発言してください。その態度も評価対象です。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
国語	古典B	3年	文系	必修	3
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生で学習した文法事項・古語・古典常識についてさらに理解を深める。</li> <li>・漢文の構文・句法を習得して、正確に読解する力をつける。</li> <li>・様々な作品を通して、人間の普遍的な感情に触れ、視野を広げ、人生を豊かにする。</li> <li>・作品を通して考えたこと、感じたことを、話し合いを通して共有することで、読みを深める。</li> <li>・入試に対応できる力を養う。</li> </ul>				
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び副教材を使用して、多角的に授業を進めていく。また、関連する作品を投げ込み教材として利用することで、多くの作品に触れる機会とし、理解・考えを広げ、深める。</li> <li>・予習を前提に授業を進め、予習・学習・演習・復習のサイクルを通して定着を図る。</li> <li>・授業の最初に小テストを実施する。自分の考えをまとめ、発表する機会を多くもつ。</li> </ul>				
使用教材	「精選古典B（改訂版）」（三省堂） 「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「基礎から解釈へ 新しい古典文法」（桐原書店） 「読んでみて覚える古文単語315」（桐原書店） 「錬成古文」（尚文出版） 「古典速読トレーニング標準」（数研出版） 「即戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習」（桐原書店）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	随筆『枕草子』大納言殿参り給ひて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の叙述を正確に読み取り、筆者の感性と考え方を読み取る。</li> <li>・読解に必要な語彙や文法を習得し、正確に文意を理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の感性について理解を深め、表現のおもしろさを味わう。</li> <li>・当時の宮廷の生活や文化について知る。</li> <li>・紛らわしい助動詞や注意すべき助動詞や敬語を学び、文意を捉える。</li> </ul>	
5	古典文法基礎の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法1 基本的な文法事項の復習</li> <li>・文法2 助動詞の意味と判別</li> </ul>	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文法の基礎の定着、活用。</li> </ul>	
6	日記『蜻蛉日記』うつろひたる菊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の結婚生活について調べ、作者の苦悩の原因について考える。</li> <li>・和歌の贈答について学習する。</li> <li>・和歌の役割について理解する。</li> </ul>	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開を理解して、人物の心情とその変化を正確に読み取る。</li> <li>・和歌の修辞・効果を理解して、鑑賞することができる。</li> <li>・普遍的な人間の情について考える。</li> </ul>	
7	論語 莊子 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の構造を理解して白文で読み下し、漢文独特のリズムを感じとる。</li> <li>・仁を目指す修養と学問について読み、孔子の思想について考える。</li> <li>・老荘思想について考え、儒教との違いについて理解する。</li> <li>・漢詩の基本事項の習得</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の構造を考えながら、白文で読み下し、その主旨をつかむ。</li> <li>・孔子が理想とした仁について考える。</li> <li>・老荘思想について、儒教と比較して考える。</li> <li>・漢詩を読み味わう。漢詩の基本的な知識の習得。</li> </ul>	
8					
9	日記『和泉式部日記』夢よりはかなき世の中を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の修辞と役割・読解・鑑賞</li> <li>・敬語の整理・定着</li> <li>・基本的な助動詞の復習・定着</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語・助動詞を正確に解釈し、現代語訳ができる。</li> <li>・和歌の修辞の理解。</li> </ul>	
10	評論『無名抄』深草の里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俊恵の評価を手がかりに和歌の読解と鑑賞の仕方を習得する。</li> <li>・秀歌についての主張を踏まえて和歌を鑑賞する。</li> </ul>	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俊成のおもてうたについて、考えを読み取る。</li> <li>・藤原俊成と俊恵の歌論と歌風と和歌に対する考え方の違いを理解する。</li> </ul>	

1 1	<p>評論『源氏物語玉の小櫛』もののあはれ</p> <p>日記『紫式部日記』和泉式部と清少納言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理構造を読み取り、筆者の主張を的確に捉える。</li> <li>・「もののあはれ」という概念を本文から読み取る。</li> <li>・作者の心情の移り変わりを、表現に即して理解する。</li> <li>・比喩表現の効果を読み取る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・論のポイントとなる、儒教・仏教の論理と物語の論理の違いを理解する。</li> <li>・「もののあはれ」とは何かを、説明できるようになる。</li> <li>・登場人物が物語上で果たす役割を読み取る。</li> <li>・比喩表現の効果を味わい、実生活で生かせるようになる。</li> </ul>
1 2	<p>問題演習に取り組む</p> <p>【年間を通して】</p>	<p>期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を意識しながら、問題演習に取り組む、問題について分析・検討する。</li> <li>・問題集に集中的に取り組む、共通テストや私大一般入試対策を行う。</li> <li>・副教材の問題集を活用し、問題を解く力をつける。</li> <li>・毎回の授業で単語テストを実施する。</li> <li>・授業の終わりに学習内容を確認なものとするために数行で簡潔にまとめるとともに、自らの課題を把握して、必要な学習に取り組む姿勢を養う。</li> </ul>	<p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の学習の到達点として、必要な知識や読解力を確認し、受験勉強の方向性を確認する。</li> <li>・共通テスト・各大学の一般入試問題に対応する力をつける。</li> <li>・多くの入試問題の読解を通じて古人の感性や生活、ものの考え方に触れ、今後も古典に親しむきっかけとする。</li> <li>・演習：設問の意図を正確に捉え、解答を作成する。</li> <li>・頻出古語、重要古語に慣れ、本文の大意を把握する。</li> <li>・漢文の影響について考える。</li> <li>・古文単語の語彙を増やし、原文のまま味わうことが出来る。</li> <li>・短文の古文漢文を速読することにより、多くの作品を通して、古典の世界に触れるきっかけとし、現在とは異なる思想・文化に触れ世界を広げるきっかけとする。</li> </ul>
成績・評価について	<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの学習状況について、「関心・意欲・態度」「知識・理解」「読む能力」にもとづき、各学期の成績を総合的に判断して年間の学習成績とします。</li> <li>・知識・技能の習得・理解にとどまらず、学んだことについて自己の考えを持ち、まとめ、発表することで周りの人と意見を共有し、考えを深めるなど、主体的に学ぶ姿勢を持ちましょう。</li> </ul> <p>【各学期ごとの評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の小テスト・提出課題・定期考査などの成績を総合的に評価します。</li> <li>・授業中に行う演習や意見交換なども参考にします。まずは、取り組む姿勢が大切です。</li> <li>・週末課題は自学自習の基礎となります。丁寧に学習しましょう。</li> </ul>			
先生からのアドバイス	<p>確かな学習を身につけるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文読解の基礎になる文法的知識、韻文の技巧、漢文読解の基礎になる訓読法などは確実に理解しましょう。基礎項目をこまめに学習する習慣をつけ自学自習にも取り入れていくことが必要です。</li> <li>・当然のことながら、単語や語彙について日頃から意識を持ち、継続的に学習する習慣をつけましょう。</li> <li>・古文、漢文については、体系的にノートをまとめ、後の資料として使えるようにしましょう。</li> <li>・わからないこと、疑問に思ったことはその日のうちに解決しましょう。人に教えることも有効な学習の一つです。気軽に聞き、教えあえる環境をつくることも大切です。</li> </ul> <p>授業を受けるに当たって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習は確実にを行った上で授業に臨んでください。文法事項の書き込み・単語の意味調べ・口語訳はできているものとして進めます。</li> <li>・提出課題は期限をきちんと守ってください。提出遅れがないように自己管理を。</li> <li>・学習に必要な古語辞典、古典文法書、問題集（+漢和辞典、国語便覧）は、常に持参してください。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
国語	古典演習	3年	理系	選択	2
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文単語、古典文法、古典常識、漢文の知識など、基本的な知識を身につける。</li> <li>・問題集を中心に演習を行い、入試に必要な読解力の養成をする。</li> <li>・設問を通じて問に対する答え方を身につける。</li> <li>・共通テストの出題形式に慣れる。</li> </ul>				
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習および基本的知識の繰り返し学習を行う。</li> <li>・1時間に1単元の解答・解説を目標とするが、長文や設問数が多い場合はこの限りではない。</li> </ul>				
使用教材	「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「漢文必携」(桐原書店) 「古文単語315」(桐原書店) 「新しい古典文法」(桐原書店) 「マーク試験のための基本練習 古典10」(尚文出版) 「共通テスト 重要問題集 古典」(ラーズ)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	・基本知識の確認	・「古文単語315」「古典文法」を用いて基礎知識確認をする。	期末考査	・単語の意味、古典文法、漢文の句形・漢語など、古文や漢文の文章読解に必要な知識を身につける。	
5	問題演習	・「漢文必携」を用いて、漢文を読むための基礎的な知識を確認する。		・問題演習により、古文や漢文の文章読解に慣れる。	
6		・「マークのための基本練習 古典10」を用いた問題演習を行う。			・各問について、根拠をはっきりさせて答えられるようにする。
7					
9	問題演習	・「共通テスト 重要問題集」を用いた問題演習を行う。	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募制推薦入試に必要な読解力および基本的国語力を養成する。</li> <li>・さまざまなジャンルの古文や漢文を読み慣れ、あらすじをつかめる読解力を身につける。</li> <li>・各問に対して、根拠をはっきりさせて答えられるようにする。</li> <li>・共通テストの出題傾向に慣れる。</li> </ul>	
10	・並行して、古文単語、古典文法、漢文の基礎知識の実践問題に取り組む。				
11	・入試過去問を用いた問題演習に取り組む。				
12					
1		・基礎事項全般の確認と問題演習を行う。			
成績・評価について	小テスト、授業への取り組み、課題提出、定期考査などをもとに、関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解の5つの観点から総合的に評価する。				
先生からのアドバイス	古文の単語力や古典文法の知識、漢文の句形や漢語、古典常識を問題演習をする中で繰り返し振り返り確認しよう。あやふやな知識があれば、しっかりと身につけていこう。 古典常識を活用して、古文や漢文の課題文の読解に取り組もう。自分なりの読み方を確立しようと努力してください。すべての文を現代語に直して理解するのではなく、あらすじを大まかに短時間で読み取ることを大切にしよう。 問を説く時には、なぜその解答にいたったのかをしっかりと説明できるように、根拠を対セルにしよう。その根拠を明確にするためには、単語・文法・古典常識の力が不可欠です。問題演習の中で出てきたものは必ず身につけるつもりで、しっかり復習をしよう。その積み重ねが力になっていきます。 1回1回の演習で得たことが、自分の受験に役立つような主体的な授業の受け方を目指してください。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
国語	国語演習	3年	文系Ⅱ・Ⅲ	必修	2
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、語彙、慣用句、四字熟語、文学史など、基本的な知識を身につける。</li> <li>・問題集を中心に演習を行い、入試に必要な読解力の養成をする。</li> <li>・設問を通じて、問題文の要約を行い、要約する力や記述する力を身につける。</li> <li>・小説においては、場面・登場人物の心理を精密に把握し、比喩などのレトリックにも注意しながら、作品のテーマについて正確に理解できる能力を身につける。</li> <li>・評論においては、論理的な文章の構成や展開に慣れ、指示語や語彙の問題を確実におさえながら、筆者の論旨に関する問題を正確に見極め、記述できる能力を身につける。</li> </ul>				
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習および基本的知識の繰り返し学習を行う。</li> <li>・1時間に1単元の解答・解説を目標とするが、長文や設問数が多い場合はこの限りではない。</li> </ul>				
使用教材	「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「読み・書き・覚える 日本文学史必携」(第一学習社) 「パスポート国語必携 国語の常識の演習と確認 四訂版」(桐原書店) 「私大マーク対応 現代文 過去問題集」(桐原書店)				

学習計画および学習内容

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標		
4	表現演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己PR・志望動機等について構成を考え、表現し、発表するという演習を行う。</li> <li>・「パスポート国語必携 国語の常識の演習と確認 四訂版」「国語便覧」「文学史必携」を用いて、漢字・語彙・慣用句・熟語・文学史事項などを学習する。</li> </ul>	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を構成し、読む、書く、話すという表現分野の基本的な力と姿勢を身につける。</li> <li>・漢字の読み書き、語句の意味、慣用句、文学史など、基本的な知識を身につける。</li> <li>・問題演習により、論理的な文章の構成や展開に慣れ、指示語を正しく読みとる力をつける。</li> <li>・評論においては、論旨の展開を見極める力をつける。</li> </ul>		
5	漢字・語彙・慣用句・四字熟語・文学史					
6	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私大マーク対応 現代文 過去問題集Ⅰ～Ⅴ」を用いた問題演習を行う。</li> </ul>				
7	問題演習					
9	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私大マーク対応 現代文 過去問題集Ⅵ～Ⅱ〇」を用いた問題演習を行う。</li> <li>・並行して、過去問から抜粋した漢字・語彙・慣用句・四字熟語・文学史の実践問題に取り組む。</li> </ul>		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募制推薦入試に必要な読解力および基本的国語力を養成する。</li> <li>・設問を通じて、問題文の要約を行い、要約する力や記述する力を身につける。</li> <li>・小説においては、場面・登場人物の心理を精密に把握し、比喩などのレトリックにも注意しながら、作品のテーマについて正確に理解できる能力を身につける。</li> <li>・評論においては、論理的な文章の構成や展開に慣れ、指示語や語彙の問題を確実におさえながら、筆者の論旨に関する問題を正確に見極め、記述できる能力を身につける。</li> </ul>	
10	漢字・語彙・慣用句・四字熟語					
11	文学史					
12	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試過去問を用いた問題演習に取り組む。</li> </ul>				
1	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎事項全般の確認と問題演習を行う。</li> </ul>				

成績・評価について  
小テスト、授業への取り組み、課題提出、定期考査などをもとに、関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解の5つの観点から総合的に評価する。

先生からのアドバイス  
読解力や語彙力、記述・論述力がある程度確立された上で、実際の入試問題などに直面した時、それらをどのように総合的に活用するか、あるいは設問を解く手がかりの発見の方法など、具体的なノウハウを習得するのが、国語演習の授業の目標とするところです。  
そのためには、問題文の本文を読み、設問に取り組む上で、自分の思考の過程、その答えに至った道筋をきちんと確認しておくことが重要です。解答・解説時には、なぜそのような正答になるのか、自分の答えはどこで間違ってしまったのかを振り返り、次回に活かすことが、自分の読解力の向上につながります。また、現代文では、その問題文の中に書かれている論旨や主題も、自分が人間とその営みについて見識を深める意味では大変参考になるはずですが、1回1回の演習で得たことが、自分の受験に役立つような主体的な授業の受け方を目指してください。表現分野についても、文章を組み立て、書くという姿勢を忘れないでください。

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
地理歴史	世界史演習 1	3 年	文系	選択	4
学習の目標	現代世界が形成されていく過程を理解した上で、現代を歴史の視点から捉えられるようになる。				
学習の進め方	教科書・資料集・授業プリント等を用いて、基本的な概念について説明をする。また、生徒同士のグループワークを通じて主体的・対話的な学びを推進する。定期的に小テストや問題集の提出を課すことで知識の定着を図る。				
使用教材	「新詳世界史B」（帝国書院） 「グローバルワイド最新世界史図表」（第一学習社） 「ウィニングコンパス 世界史の整理と演習」（とうほう）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4 月	第 2 部 4 章：環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	・世界で最初の工業化 ・アメリカの独立 ・フランス革命と国民国家の誕生 ・ラテンアメリカにおける環大西洋革命	1 学期 中間考査	ヨーロッパにおいて、市民が自由・平等を獲得するまでの過程について理解する。	
5 月	5 章：イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	・イギリスの覇権と自由主義 ・ヨーロッパに広がる国民国家 ・アメリカ合衆国の拡大と国家統合	1 学期 期末考査	自由主義の高まりと国民国家の形成の 2 点について、その要因と影響を理解する。	
6 月	6 章：世界の一体化の進展とアジアの変容	・イスラーム諸国の変容と模索 ・南アジア・東南アジアの植民地化と社会変容 ・東アジア諸国の模索と変容	2 学期 中間考査	欧米諸国のアジア進出がアジアに与えた影響について理解する。	
7 月 9 月	第 3 部 1 章：世界の一体化の完成とその影響	・帝国主義と世界分割競争 ・アジア知識人による体制改革の試み		帝国主義がのちの大戦を準備することになったという点を理解する。	
10 月 11 月	2 章：世界大戦の時代	・第一次世界大戦と社会主義革命 ・第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ・大衆社会の到来とファシズムの出現 ・第二次世界大戦とその惨禍		二度の大戦の惨禍を知るとともに、大戦が社会に与えた影響について理解する。	
12 月	3 章：東西冷戦から多極的国際社会へ	・アメリカの覇権と冷戦の展開 ・多極化の始まり ・米ソ二極時代の終焉	2 学期 期末考査	現代と比較しながら冷戦の構造について把握する。	
1 月	4 章：相互依存を深める世界	・社会主義圏の解体と国際秩序の変容 ・グローバル化の動きと世界の変化	まとめの テスト	世界的な課題の解決について考えられるようになる。	
成績・評価について	各学期に行われる定期考査、授業への取り組み状況などをもとに、「関心意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」のそれぞれの観点について総合的に評価する。				
先生からのアドバイス	教科書を学習の軸とするが、資料集や問題集も必要に応じて利用し、授業プリントでポイントを押さえながら授業を展開します。因果関係を丁寧に理解しながら、たて（時間）とよこ（空間）を関連づけて考えましょう。また、常に現代と比較する視点をもって授業に臨んでください。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数			
地理歴史	日本史演習1	3年	文1・文2・文3	選択	4			
学習の目標	2年次の学習内容をさらに深め、我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。							
学習の進め方	学校作成プリントを使用し、問題演習・解説を中心に進めていく。 グループ学習・自主学習を適宜取り入れ、多様な観点で学習を深めていく。							
使用教材	自主開発教材 前年次使用「詳説日本史B」(山川出版社)・副教材 「新詳日本史」(浜島書店)、 「ウイニングコンパス 日本史の整理と演習」(とうほう)も継続して適宜参照する。							
学習計画および学習内容								
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標				
4月	幕藩体制の確立	織豊政権 桃山文化	1学期中間考査	江戸時代の政治・社会・文化について4月・5月実施予定の部分を大胆に編集し、テーマ的に江戸時代を概観する いわゆる鎖国状態下の日本社会の独自の発展を理解する。				
5月	幕藩体制の展開	3 幕藩体制の成立 4 幕藩体制の構造						
6月	幕藩体制の動揺	5 幕政の安定 6 経済の発展 7 元禄文化						
7月		8 幕政の改革 9 宝暦・天明期の文化 10 幕府の衰退と近代への道 11 化政文化						
8月								
9月	近代国家の成立	11 開国と幕末の動乱 12 明治維新と富国強兵 13 立憲国家の成立と日清戦争 14 日露戦争と国際関係				2学期中間考査	開国と、近代日本の発展を理解する。  近代の世界的な歴史の流れと日本の関係を理解する。	
10月	二つの世界大戦とアジア	15 近代産業の発展 16 近代文化の発展						
11月	占領下の日本	17 第一次世界大戦と日本 18 ワシントン体制と市民文化 19 恐慌の時代と軍部の台頭						
12月	高度成長の時代	20 第二次世界大戦 21 占領と改革 22 冷戦の開始と講話 23 55年体制 24 経済復興から高度成長へ						
1月	激動する世界と日本	25 経済大国への道 26 冷戦の終結と日本社会の変容						
成績・評価について	各学期に行われる定期考査、授業への取り組み状況・提出物などをもとに、関心意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の観点について総合的に評価する。 グループ学習や自主学習を取り入れる場合は話し合いの取り組み、まとめの作業、発表などの取り組みも評価の対象とする。 なかでも、定期考査の成績を重視するので、各自しっかり準備をして定期考査を受けるようにすること。							
先生からのアドバイス	学校作成演習プリントを利用し、2年次の教科書・資料集も使用して授業を展開するので、多くの基礎知識をきちんと身に付けて、自分の頭で考えられるようにして授業に臨んでください。グループ学習や自主学習が設定された場合は、積極的に学習に臨み、より主体的な学習となるよう取り組みましょう。 受験を意識した自宅学習を行い、集中して授業を受けるようにしましょう。							

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
地理歴史	世界史演習2	3年	文2	選択	2
学習の目標	問題演習を通じて2年次に学習した世界史の内容の理解を深める。				
学習の進め方	問題演習・解答・解説を中心に進めていく。				
使用教材	「要点整理ゼミナール世界史」(浜島書店) 「新詳世界史B」(帝国書院)・「グローバルワイド最新世界史図表」(第一学習社)も参考にする。				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	古典文明	1 先史時代 2 オリエント文明 3 イラン文明 4 エーゲ・ギリシャ・ヘレニズム文明 5 ローマ文明とキリスト教	1 学期 中間考査	いわゆる古代文明に関する知識を網羅し、「ヨコ」の関係を把握する。	
5月		6 インドの古典文明 7 東南アジアの文明 特1 東アジア・南アジア・陽南アジアの自然環境			
6月	東アジア世界の形成と発展 内陸アジア世界の変遷 イスラーム世界の形成と発展	8 中国文明 9 秦・漢の時代と南北アメリカの古代 10 魏晋南北朝時代 11 隋・唐の時代 12 イスラーム世界 13 西ヨーロッパ世界の成立とビザンツ帝国 14 スラヴ人と東ヨーロッパ世界の成立	1 学期 期末考査	ヨーロッパ・イスラム・アジアの三つの世界が登場する。しっかりと同時代の動きを把握する。	
7月		特2 2. 5. 8世紀の世界 特3 前5世紀から5世紀の主要王朝年表			
9月	ヨーロッパ世界の形成と発展 アジア諸地域の繁栄	15 十字軍と封建社会の衰退 16 王権の伸長と中央集権国家 17 宋と東アジア 18 内陸アジアとモンゴル帝国 19 明・清の時代	2 学期 中間考査	近代化とは何か、という課題を軸に大きな世界再編の動きを把握する。	
10月		20 イスラーム諸国家の興亡 21 近代ヨーロッパの成立 22 主権国家体制の形成 23 植民地争奪と17・18世紀ヨーロッパ文化 特4 7～12世紀の世界 特5 中国主要王朝の要点の整理 特6 古代中世の日本と世界のつながり 特7 11・13・15世紀の世界 特8 12～17世紀の主要王朝年表			
11月	欧米における近代社会の成長	24 産業革命 25 アメリカ独立革命 26 フランス革命とナポレオン帝政	2 学期 期末考査	資本主義の成立と帝国主義による世界分割が何を世界のもたらしたかを把握し現代世界の問題の根源を考える。	
12月	欧米における近代国民国家の発展 帝国主義による地球世界の到来	27 ウィーン体制と崩壊 28 自由主義とナショナリズムⅠ 29 自由主義とナショナリズムⅡ 30 アメリカの発展と19世紀欧米文化 31 ヨーロッパのアジア進出 32 帝国主義と世界分割 33 世界諸地域の民族運動 入試問題演習			
評価について	各学期に行われる定期考査、授業への取り組み状況などをもとに、関心意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用 の技能、知識・理解の観点について総合的に評価する。なかでも、定期考査の成績を重視するので、各自、しっ かり準備をして定期考査を受けるようにすること。				
先生からのアドバイス	問題集を学習の軸とします。どんどん進むので2年次の教科書やプリントも参考に問題を解いていきましょう。 実際の大学入試問題を適宜、紹介しながら進めていきます。私立大学の一般選抜や大学入学共通テストを意識 した自宅学習を行い、集中して授業を受けましょう。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
地理歴史	日本史演習2	3年	文2	選択	2
学習の目標	2年次の学習内容に加え、「日本史演習1」での学習内容をふまえ、演習を通じて我が国の歴史の展開を世界の歴史とも関連付けて、多面的・多角的に考察させ、歴史的なものの見方・考え方を養うとともに、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
学習の進め方	問題演習・解答・解説を中心に進めていく。				
使用教材	「詳説日本史」(山川出版社) 「新詳日本史」(浜島書店) 「ゼミナール日本史」(浜島書店)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	古代国家の成立	1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権 4 飛鳥の朝廷と文化 5 律令国家の成立 6 奈良時代の政治と文化 7 平安初期の政治と文化 8 摂関政治と国風文化 9 荘園と武士 10 院政と平氏の台頭	1 学期 中間考査	古代国家の成立に関する知識を確認・獲得し、現在の日本国家の基礎の成り立ちを理解する。	
5月	中世日本の確立	11 鎌倉幕府の成立と執権政治 12 蒙古襲来と幕府の衰退 13 鎌倉文化	1 学期 期末考査	武士階級の出現から活躍までを理解する。	
6月		14 室町幕府の成立と東アジアとの交易 15 幕府の衰退と庶民の台頭 16 室町文化と戦国大名の登場 17 織豊政権と桃山文化			
9月	近世日本の確立	18 幕藩体制の成立 19 鎖国と寛永期の文化 20 百姓・町人の統制 21 幕政の安定と産業の発達 22 経済の発展と元禄文化 23 幕政の改革 24 宝暦・天明期の文化と寛政の改革 25 幕府の衰退と化政文化 26 開国と幕末の動乱 27 明治維新と富国強兵	2 学期 中間考査	江戸期の政治・経済・文化を理解する。	
10月	11月	28 殖産興業と明治初期の外交 29 立憲国家の成立 30 条約改正と日清戦争 31 日露戦争と国際関係		近代国家形成への足跡をたどる。	
12月		32 近代産業の発展 33 近代文化の発達 34 第一次世界大戦と日本 35 ワシントン体制 36 市民文化と恐慌の時代 37 軍部の台頭 38 日中戦争と戦時下の文化 39 太平洋戦争 40 占領と改革 41 冷戦の開始と講和 42 55年体制 43 経済復興から高度成長へ 44 激動する世界と日本	2 学期 期末考査	国際社会への進出の状況を学ぶ。  戦後日本の成長を理解する。  冷戦とその後の世界、第三勢力を把握していく	
1月					
成績・評価	各学期に行われる定期考査、授業への取り組み状況などをもとに、関心意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用 of 技能、知識・理解の観点について総合的に評価する。 なかでも定期考査の成績を重視するので、各自しっかり準備をして定期考査を受けるようにすること。				
先生からのアドバイス	問題集を学習の軸としますが、2年次の教科書・副教材も使用して授業を展開するので、興味・関心を常に持ち、多くの基礎知識をきちんと身につけられるよう積極的な姿勢で臨んでください。 共通テスト、私大入試を意識した自宅学習を行い、集中して授業を受けましょう。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
地理歴史	地理B	3年	理系	必修	3
学習の目標	現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、世界の人々の相互理解が一層深められるような視点を身に付ける。大学入学共通テストに対応できる理解力を付ける。				
学習の進め方	教科書・資料集・地図帳を相互に活用し、問題集を中心に進めていく。				
使用教材	「新詳地理B」（帝国書院） 「新詳地理資料COMPLETE2023」（帝国書院） 「新詳高等地図」（帝国書院） 「ウィニングコンパス地理の整理と演習2023」（とうほう）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的 技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	1節 現代世界の地図 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化		様々な種類の地図の活用や、地理情報の地図化などを通じて現代世界の地理的事象をとらえる技能を身につける。	
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的 考察 1章 自然環境	1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題	1学期 中間考 査	世界の諸地域の自然環境を形成する地形と気候を理解する。 世界の環境問題を先進国と発展途上国の事例を通して追求し、解決への取り組みを考察する。	
6	2章 資源と産業	1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業 3節 食料問題 4節 世界のエネルギー・鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題 6節 世界の工業 7節 第3次産業 8節 世界を結ぶ交通・通信 9節 現代世界の貿易と経済圏		世界の食料問題を食料供給のかたよりに通して追究し、解決への取り組みを考察する。 世界の資源分布と産業立地について考える。	
7			1学期 期末考 査	世界の資源・エネルギー問題をその利用と不均衡の問題を通して追求し、解決への取り組みを考察する。	

学習計画および学習内容						
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標		
9	3章 人口、村落・都市	1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	2学期 中間考 査	世界各国の住環境と、衣食住について考える。 世界の人口問題を先進国と発展途上国の事例を通して追究し、解決への取り組みを考察する。 世界の都市・居住問題を先進国と発展途上国の事例を通して追求し、解決への取り組みを考察する。		
10	4章 生活文化、民族・宗教	1節 生活文化 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題				
11	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察					
11	1章 現代世界の地理区文	1節 地域区分とは何か 2節 地域区分のさまざまなスケール				
12	2章 現代世界の諸地域	1節 地誌の考察方法 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア			2学期 期末考 査	
1	3章 現代世界と日本					環日本海諸国の特色と日本との関わりを考える。
成績・評価について		各学期に行われる定期考査、授業への取り組み状況などをもとに、関心意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の観点について総合的に評価する。なかでも、定期考査の成績を重視するので、各自、しっかり準備をして定期考査を受けるようにすること。				
先生からのアドバイス		教科書・地図帳・資料集の3教材を用いて授業を展開するので、多くの基礎知識をきちんと身に付けて臨んでください。ワークをやることで地理的知識を定着させましょう。大学入学共通テストを意識した自宅学習を行い、集中して授業を受けましょう。現代社会の要素も多く、様々な問題をいかに平面的に、横のつながりで見ることができるかが、地理的認識には欠かせません。そのためにも日頃から地図帳を携帯し、眺めることが大切です。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数	
公民	政治・経済	3年	文系1・文系2	必修	2	
学習の目標	現代の政治、現代の経済を学習することで、現代社会のさまざまな諸課題について理解し、われわれがどのようにその諸課題を克服していくかを考える。また、日常生活の中で時事問題に興味関心を持ち、現代を生きる日本国民として、今後の日本の在り方について考える。					
学習の進め方	教科書、資料集を用いて主にプリントと板書で授業を進めていく。 プリントは原則ノートへの貼り付けを行い、自らの学習に役立てることとする。 普段の日常生活の中で新聞やニュースから情報を読みとり、時事問題に興味を持つようにする。					
使用教材	教科書：「最新 政治経済 新訂版」 (実教出版) 資料集：「政治・経済資料 2023」 (東京法令出版)					
学習計画および学習内容						
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標		
4	第一編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治	①民主政治の成立 ②民主政治の基本原則 ③民主政治のしくみと課題 ④世界の主な政治制度	1学期 中間検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治とは何か、近代民主政治はどのように成立したのかを理解する。</li> <li>・現代の民主政治の問題を考えることができる。</li> <li>・民主政治の諸原理は各国の政治制度にどのように反映されているか考える。</li> <li>・日本国憲法はどのようにして制定されたか。また、明治憲法との違いを理解する。</li> <li>・これからの憲法について自分の意見が持てる。</li> <li>・法の下での平等とは何か考える。</li> </ul>		
5	第2章 日本国憲法と基本的人権	①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本原則 ③自由に生きる権利 (1) ④自由に生きる権利 (2) ⑤平等に生きる権利 ⑥社会権と参政権・請求権 ⑦新しい人権 ⑧人権の広がり と 公共の福祉		1学期 期末検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の地位・権限・構成はどのようなものか理解する。</li> <li>・唯一の立法機関としての役割を考える。</li> <li>・司法権の独立はなぜ重要か考える。</li> <li>・政党政治の課題を考える。</li> <li>・日本の選挙制度の特徴を理解する。</li> </ul>	
6	第3章 日本の政治制度と政治の参加	①政治機構と国会 ②内閣と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会を構成する要素を理解し、国際法とは何か考える。</li> </ul>	
7	第4章 現代の国際政治	①国際社会と国際法 ②国際社会の変化 ③国際連合と国際協力 ④第二次世界大戦後の国際政治 ⑤冷戦終結後の国際政治 ⑥軍拡競争から軍縮へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日米安全保障の役割はどのように変化しているか理解する。</li> </ul>			
9	第5章 日本の平和主義と国際平和	①平和主義と自衛隊 ②日米安全保障体制の変化 ③21世紀の平和主義 ④日本の外交と国際社会での役割	2学期 中間検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済はどのように発展してきたか、またその特徴はどこにあるか理解する。</li> <li>・企業が担う社会的責任とは何か理解する。</li> <li>・日本銀行が実施する金融政策の目的は何か考える。</li> </ul>		
10	第二編 現代の経済 第1章 現代の経済社会	①経済社会の変容 ②経済主体と市場の働き ③企業の役割 ④国民所得 ⑤経済成長と国民の福祉 ⑥金融の役割 ⑦日本銀行の役割 ⑧財政の役割と租税 ⑨日本の財政の課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済は、戦後復興をどのようにはたしたのか理解する。</li> </ul>		
11	第2章 現代の日本経済と福祉の向上	①戦後復興から高度経済成長へ ②安定成長からバブル経済へ ③日本経済の課題 ④中小企業と農業 ⑤消費者問題				

学習計画および学習内容

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
1 2	<p>第三章 現代の国際経済</p> <p>第三編 現代社会の諸課題</p>	<p>⑥公害防止と環境保全 ⑦労働問題と労働者の権利 ⑧こんにちの労働問題 ⑨社会保障の役割</p> <p>①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際政治 ④国際経済の動向 (1) ⑤国際経済の動向 (2) ⑥発展途上国の諸課題 ⑦経済協力と日本の役割</p> <p>①地域社会の変貌と住居生活 ②産業構造の変化と中小企業 ③農業と食料問題 ④雇用と労働をめぐる問題 ⑤少子高齢社会と社会保障 ⑥地球環境問題 ⑦地球環境と資源・エネルギー問題 ⑧人種・民族問題 ⑨経済格差の是正と国際協力 ⑩国際社会における日本の立場と役割 ①～⑤および、⑥～⑩の中からいくつか選択し学習</p>	2学期 期末考査	<p>・ 郊外についての歴史的出来事を知る。 ・ 公害防止や環境保全のためには、どのような対策が必要なのか考える。</p> <p>・ 経済のグローバル化とは何か理解する。</p> <p>・ 現代社会の様々な課題について理解するとともに、どのように克服していくべきか考える。 ・ 自己の身の回りには現代社会特有の問題はないか考える。</p>
成績・評価について	<p>定期考査の点数を柱とし、提出物、出席状況・授業態度等をもとに、関心意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能、知識・理解の観点について総合的に評価する。 自主的な発言については加点とする。</p>			
先生からのアドバイス	<p>・ 評価は定期考査を中心とするが、さまざまな要素を総合するので、授業に取り組む姿勢、提出物、出席なども気をつけるようにして下さい。</p> <p>・ 授業の中で、時事ニュースについても取り上げる予定をしています。従って、新聞やニュースなどから多くの時事ニュースに興味・関心を持つようにしましょう。</p> <p>・ 配布されたプリントはノートに貼ったりするなど工夫し、自分が理解しやすいように利用して下さい。</p> <p>・ グループ活動を行うときは、活動するときと聞くときのメリハリをしっかりとつけましょう。</p> <p>・ 私たちの創る日本の未来について常に考えておきましょう。</p> <p>・ 現代社会に起こっている様々な社会問題について、自分なりの意見が言えるように自分自身の考えを持っておきましょう。</p> <p>・ 政治経済を学び、社会と自己を見つめられるようになりましょう。</p>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
数 学	数学Ⅲ	3 年	理系	選択	5
学習の目標	平面上の曲線と複素数平面，数学Ⅱの内容をさらに発展、拡充させた極限、微分法及び積分法についての理解を深める。将来、数学が必要な専門分野に進もうとする生徒や数学を深く学ぼうとする生徒の知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。				
学習の進め方	どんどん授業が進むので、家庭学習でその日授業で学んだことを復習し、確実に身につけよう。基本と演習のテーマを授業の理解のチェック，応用力の養成に利用するとよい。				
使用教材	「改訂版 新編 数学Ⅲ」（数研出版） 「基本と演習テーマ数学Ⅲ」（数研出版）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	関数	いろいろな関数 ・分数関数 ・無理関数 ・合成関数・逆関数	中間考査	簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。	
5	極限	数列の極限 ・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数  関数の極限 ・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性		数列の極限について理解し、簡単な数列の極限を求める。 無限級数の収束，発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求める。  関数の極限について理解し、それらの事象の考察に活用する。	
6	微分法	微分係数と導関数 ・関数の和・差・積・商の導関数 ・合成関数の導関数 ・三角関数・対数関数・指数関数の導関数		関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和・差・積・商の導関数を求める。 合成関数の導関数を求める。 三角関数・対数関数・指数関数の導関数を求める。 自然対数の底 $e$ を理解する。	
	微分法の応用	導関数の応用 ・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ いろいろな応用 ・方程式，不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	期末考査	導関数を用いて、いろいろな関数の接線の方程式を求める。 平均値の定理について理解する。 微分法を用いて関数の増減・凹凸を考察しグラフを描く。そのことにより、方程式、最大・最小問題に取り組む。 微分法と物理とのつながりを理解する。	
7	複素数平面	複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形		平面上の曲線がいろいろな式で表されること及び複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用する。	
	式と曲線	2次曲線 ・放物線 ・楕円 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 媒介変数表示と極座標 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式	2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。 2次曲線の標準形や平行移動を理解し、概形を描く。 媒介変数表示と、極座標や極方程式による有効性を理解し、応用する。		

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
9	積分法	不定積分 ・不定積分とその性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分  定積分 ・定積分とその性質 ・置換積分法・部分積分法 ・定積分のいろいろな問題		不定積分の基本性質を理解する。 置換積分・部分積分により原始関数を求める。  定積分の基本性質を理解する。 置換積分・部分積分により定積分計算ができる。
10	積分法の応用  問題演習	積分法の応用 ・面積 ・体積 ・道のり ・曲線の長さ  数学Ⅲの問題演習	中間考査	いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなど、定積分を利用して求める。  数学Ⅲの全分野からの問題練習を通して、復習をするとともに応用力をつける。
11		入試問題演習		入試問題の実践演習により、数Ⅲの入試形式に慣れる。
12			期末考査	
成績・評価について		・考査の成績、提出物、出席状況などをもとに、関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解の4観点について総合的に評価する。		
先生からのアドバイス		基本から入試対策までを授業で行います。授業にしっかりついてくることを基本に考え、問題集「基本と演習テーマ数学Ⅲ」で基本事項の定着と応用力をつけていきます。 内容が多く、授業のペースも速いので、くれぐれも分からないところをそのままにして放置することのないようにしましょう。		

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
数 学	数学演習A	3年	文系1	選択	3
学習の目標	基礎知識の確認と計算技能の習熟を図るとともに、教科書で学んだことの確認と応用力を養成する。主に数学ⅠA・Ⅱ分野について、基礎から発展までの力をつける。				
学習の進め方	問題集の問題の解説と、その類題の演習を行う。 また、その範囲の小テストも行い定着をはかる。				
使 用 材	参考書「チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A」(数研出版) 「チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B」(数研出版) 問題集「ニューステージ数学演習数学Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編」(数研出版)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学 習 内 容	テ ス ト	到 達 目 標	
4	数学Ⅱ内容	34～36. 微分法 37, 38. 積分法 32, 33. 指数関数と対数関数 30, 31. 三角関数 27～29. 図形と方程式	中間考査	・数学Ⅱについて、教科書レベルの基本事項の確認をする。	
5		24. 式と証明 25, 26. 複素数と方程式			
6	数学Ⅰ内容	1～5. 数と式 6～8. 2次関数 9～11. 図形と計量	期末考査	・数学Ⅰ・Aについて、教科書レベルの基本事項の確認をする。	
7		12, 13. データの分析			
9	数学A内容	14～17. 場合の数と確率 18～20. 図形の性質 21～23. 整数の性質	中間考査	・数学Ⅰ・Aについて、共通テストに対応できる力を身につける。	
10		※数学Bについては補習にて対応する			
11	数学ⅠAの総合演習	過去問等を用いて実践演習	期末考査		
12					
1					
成績・評価について	・考査の成績、小テスト、出席状況などをもとに関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解の4観点について総合的に評価する。				
先生からのアドバイス	授業で取り扱う1問1問を大切にしましょう。授業でしっかり理解し、できなかった問題について、自分の力でもう一度解答を作り直して力をつけましょう。必要に応じて小テストを行います。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数			
数 学	数学演習A	3 年	文系3	選択	4			
学習の目標	数学 I・A の復習として、問題練習に打ち込むことで、高校の数学で学んだことの整理をするとともに、応用力と数学的な思考力を養う。							
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学 I・A の復習を、問題集を用いて行う。</li> <li>・毎授業において、小テストを行う。</li> </ul>							
使用教材	「チャート式 解法と演習 数学 I+A」 (数研出版) 「短期集中ゼミ 看護・医療系のための数学 I・A」 (実教出版)							
学習計画および学習内容								
月	学習項目	学 習 内 容	テスト	到 達 目 標				
4	数と式	式の展開と因数分解 無理数の計算 対称式の計算 絶対値記号	1 学期中間	数学 I・A について、教科書レベルの基本事項の確認をする。				
5	2 次関数	2 次関数のグラフの移動 2 次関数の最大・最小・決定 2 次方程式と判別式						
6	三角比	1 次不等式・2 次不等式 絶対値と方程式・不等式 三角比 三角比の相互関係 三角方程式・不等式 正弦定理・余弦定理 三角形の面積 三角形と図形 集合と集合の要素 命題 必要条件と十分条件						
7	データの分析	度数分布と代表値 箱ひげ図 平均値と分散、標準偏差 データの相関				1 学期期末	数学 I・A について、看護・医療系の入試問題を解くことができるレベルまで解ける力をつける。	
9	場合の数 確率	和の法則・積の法則 順列と組み合わせ 確率の加法定理 順列・組合せと確率 余事象・反復試行の確率 最大公約数と最小公倍数 互除法 不定方程式						
10	整数の性質	円周角の定理 接弦定理 円に内接する四角形 内心と外心 角の二等分線と辺の比 方べきの定理 円と接線 2 円の関係						
11	図形の性質	入試問題演習	2 学期期末	入試問題の実践演習により、入試形式に慣れる。				
12	問題演習							
1								
成績・評価について	・ 考査の成績、小テスト、出席状況などをもとに、関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解の 4 観点について総合的に評価する。							
先生からのアドバイス	授業で取り扱う 1 問 1 問を大切にしましょう。授業でしっかり理解し、できなかった問題についても、自分の力でもう一度解答を作り直して力をつけましょう。毎時間小テストを行います。							

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
数 学	数学演習B	3年	理系	必修	2
学習の目標	教科書で学んだことの確認と応用力の養成				
学習の進め方	問題演習を通して、基礎、基本の確認、及び実践力を養成していると実感させながら、演習、説明、確認、類題などの提示を繰り返す				
使用教材	「チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A」「チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B」(数研出版) 「シニア数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B」(数研出版)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学 習 内 容	テスト	到達目標	
4	数学Ⅰ・Ⅱ A・Bの復習	1. 式の計算 2. 式の値 3. 1次不等式 4. 命題と集合 5. 関数とグラフ 6. 関数の最大・最小 7. 2次方程式、2次不等式 8. 2次関数のグラフとx軸の共有点	中間考査	・問題を解き、その過程で基本事項の確認をする。つまりいた問題を参考書「チャート式」で確認・理解し、数ⅠⅡABにわたって基礎力を身につける。 ・「基本問題」で基本事項が身に付いているか確認しつつ、「ポイントチェック」問題を解き、応用力を身につける。	
5		9. 三角比の基本 10. 三角比と図形(1) 11. 三角比と図形(2) 12. データの分析			
6		13. 場合の数、順列 14. 組合せ 15. 確率(1) 16. 確率(2) 17. 図形の性質(1) 18. 図形の性質(2) 19. 約数と倍数 20. 不定方程式 21. 整数の種々の問題	期末考査	・志望進路に応じて、A問題やB問題に取り組む。	
7		22. 二項定理、整式の除法、分数式の計算 23. 恒等式、等式の証明 24. 不等式の証明 25. 複素数とその計算、2次方程式の理論 26. 剰余の定理、因数定理 27. 種々の方程式の解法 28. 点・直線・円 29. 曲線と直線 30. 軌跡			
9		31. 領域、図形と式の種々の問題 32. 三角関数(1) 33. 三角関数(2) 34. 指数関数・対数関数(1) 35. 指数関数・対数関数(2) 36. 導関数と接線 37. 関数の増減・極値 38. 最大・最小(微分法) 39. 方程式・不等式への応用 40. 積分の計算 41. 定積分で表された関数 42. 面積	中間考査		
10					
11					

12	1	数学ⅠAⅡB の実践演習	43. ベクトル 44. ベクトルと平面図形 45. ベクトルと空間図形 46. 等差数列・等比数列 47. 種々の数列 48. 漸化式と数列 49. 数学的帰納法  ・共通テスト対策演習	期末考査	・共通テストに対応できる力を身につける。
成績・評価 について	・考査の成績、提出物、出席状況などをもとに、関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解の4観点について総合的に評価する。				
先生からの アドバイス	・2年までに学習した数学について問題演習を通じて復習していきます。予習で一通り問題を解いておいて、わからない点を明確にした上で授業に臨んでください。 ・1、2年で身に付けておくべき内容で不十分だと思われる箇所を、授業および予習復習を通して埋め合わせましょう。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
理科	物理	3年	理系	選択	3
学習の目標	自然の事物・現象に関する観察・実験などを通してエネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然との関わりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。				
学習の進め方	教科書とプリントを使い説明をし、プリントや問題集による演習を通して物理的なものの見方を養う。また、実習・実験をしながら、様々な現象における過程や原因についても考察していく。問題集は家庭学習にも活用し、理解を深めていくために使用する。				
使用教材	教科書「総合物理2」（数研出版）問題集「プログレス物理基礎」（第一学習社） 「スタディーノート物理」（第一学習社） 「セミナー物理基礎+物理」（第一学習社）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	第3編 波 第1章 波の性質	1 波と媒質の運動 2 正弦波の式 3 波の伝わり方	課題考査	波の概念の理解。 波の基本的問題を解くことができる。 波の干渉・回折の理解。 波の反射・屈折の理解。	
5	第2章 音	1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴 3 音のドップラー効果	中間考査	音の概念の理解。 ドップラー効果の概念の理解。 ドップラー効果の問題を解くことができる。	
6	第3章 光	1 光の性質 2 レンズと鏡 3 光の干渉と回折	期末考査 課題考査	光の概念の理解。 光の性質の理解。 レンズの概念の理解。 光の回折・干渉の理解。 光の回折・干渉の問題（ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層）を解くことができる。	
9	第4編 電気と磁気 第1章 電場	1 静電気力 2 電場 3 電位 4 物質と電場 5 コンデンサー		クーロンの法則、電場の概念の理解。 電位の概念の理解。 コンデンサーの概念の理解。 コンデンサーの問題を解くことができる。	
	第2章 電流	1 オームの法則 2 直流回路 3 半導体	中間考査	電流・電圧・電気抵抗・電力の概念の理解。 キルヒホッフの法則を使って回路の問題を解くことができる。 半導体の概念の理解。	
	第3章 電流と磁場	1 磁場 2 電流のつくる磁場 3 電流が磁場から受ける力		磁気力・磁界の概念の理解。 電流によって磁界ができることの理解。	

学習計画および学習内容

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
10		4 ローレンツ力		フレミングの左手の法則の理解。 平行電力間にはたらく力の理解。 ローレンツ力の概念の理解。 ローレンツ力と等速円運動の融合問題を解くことができる。
11	第4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 自己誘導と相互誘導 3 交流の発生 4 交流回路 5 電磁波		電磁誘導の現象の理解。 レンツの法則・ファラデーの法則を使って問題を解くことができる。 自己誘導と相互誘導の概念の理解。 交流の発生の概念の理解。 交流の問題を解くことができる。 電気振動・電磁波の概念の理解。
12	第5編 原子 第1章 電子と光	1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動性		トムソンの実験・ミリカンの実験の理解。 光量子仮説による光電効果の理解 X線の発見、スペクトル、粒子性・波動性の理解。 物質波、波動と粒子の二重性の理解。
	第2章 原子と原子核	1 原子の構造とエネルギー準位 2 原子核 3 放射線とその性質 4 核反応と核エネルギー 5 素粒子	期末考査	ボーアの理論による水素原子スペクトルの理解。 原子核の発見とボーアの原理の理解。 結晶中の電子とエネルギー帯の理解。 固体中での電子のふるまいについての理解。 原子核の崩壊と放射能についての理解。 原子核の結合エネルギー、核融合・核分裂の理解。 素粒子の研究、基本的な力、宇宙の始まりについての理解。
成績・評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査の成績・宿題等の課題への取り組み・実験・実習への取り組み（レポート提出）</li> <li>・ 出席状況・授業への取り組み姿勢をもとに、関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能、知識・理解の4観点を総合的に評価する。</li> </ul>			
先生からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公式をただ覚えるのではなく、式の意味を理解しながら学習を進めましょう。</li> <li>・ 文字式の変形、通分、三角比、三角関数、弧度法、ベクトル、2次方程式の解の公式、図形の面積など数学をしっかり修得した上で物理の学習を行いましょ。</li> <li>・ 授業内で理解するように努力し、理解した内容を記憶に残せるよう復習に努めましょう。理解できない内容があれば、授業内あるいは次の授業までにしっかり質問等をし、理解したうえで次の授業に臨みましょう。（前のことがわからないと次は理解できません。）</li> <li>・ 出された宿題や課題は時間をかけてでも自分の力で必ず取り組むこと。</li> <li>・ 大学受験に向けて、補習等を積極的に受講しましょう。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
理科	化学	3年	理系	必修	4
学習の目標	1. 無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 2. 有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 3. 高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 4. 上記の目標を達成するために探究活動を行い、学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。				
学習の進め方	教科書を使いプリント等で説明をし、視聴覚教材の使用、実習・実験をしながらいろいろな現象とその過程や原因を理解し、質問や問題演習等で理解度を確認していく。問題集は家庭学習で理解を深めていくために使用することを基本とする。				
使用教材	「化学」(啓林館) 「四訂版 サイエンスビュー化学総合資料」(実教出版) 「改訂スタディノート 化学」(第一学習社) 「実践アクセス総合化学」(浜島書店)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	溶液の性質	A 溶解平衡と溶解度 B 希薄溶液の性質 C コロイド	中間考査	・溶液の性質は純粋な液体どのように異なるかなど、溶解のしくみと、溶液のさまざまな性質について学習し、理解を深める。	
5月	化学反応と熱	A 反応熱と熱化学方程式 B ヘスの法則		・化学反応では新しい物質が生成する際に熱の出入りが起こることに気づき、反応物と生成物のそれぞれの持つエネルギーの差が熱となり放出吸収することを理解する。また、化学変化に伴うエネルギーの出入りについて、計算から求める。	
6月	反応速度	A 反応の速さ B 化学反応と触媒	期末考査	・化学反応の速さの表し方と、反応の速さを決める要因について学習する。	
7月	化学平衡	A 可逆反応と化学平衡 B 平衡の移動  <b>夏休みの課題</b>		・化学平衡における各物質の量的関係および、化学平衡の移動について理解する。 ・酸や塩基、塩の基本的な性質が、化学平衡で説明できることを理解する。	
8月				・溶解度が化学平衡で説明できることを理解する。	
9月	無機化合物	C 電離平衡 A 周期表と元素の分類 B 非金属元素		・各元素の単体やその化合物の性質について知り、理解する。	

学習計画および学習内容

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
10月	有機化合物	C 典型金属元素 D 遷移元素 E 生活と無機物質	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点でとらえ、無機物質の工業的製造法などを科学的に考察できる。</li> <li>単体や無機化合物が人間生活にどのようなかかわっているかを科学的に考察できる。</li> </ul>
11月		A 有機化合物の特徴と分類 B 脂肪族炭化水素 C 酸素を含む脂肪族化合物 D 芳香族化合物 E 生活と有機化合物		<ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物の性質や反応性が、無機化合物とは異なる特徴があることを見いだすことができる。</li> <li>炭化水素や官能基を含む有機化合物の性質や反応性が、炭素鎖の構造や官能基に特徴付けられることを見だし、異性体を論理的に考察できる。</li> <li>酸素及び窒素を含む代表的な官能基の反応性と有機化合物相互の関連について、観察、実験などを行い考察できる。</li> <li>有機化合物が人間生活にどのようなかかわっているかを科学的に考察できる。</li> </ul>
12月	高分子化合物	A 天然高分子化合物 B 合成高分子化合物 C 生活と高分子化合物	学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>高分子化合物の特徴や反応性について、日常生活に関連づけて理解している。</li> <li>天然高分子化合物の性質や反応性について、糖類、アミノ酸とタンパク質、酵素、核酸等を通して理解し、天然高分子化合物相互の相違と関連性についての知識を身に付けている。</li> <li>合成高分子化合物の合成反応や性質・反応性について、合成繊維、プラスチック、ゴム等の用途別の代表的な合成高分子化合物について理解し、相互の相違と関連性について知識を身に付けている。</li> <li>合成高分子化合物について、人間生活と関連づけて理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>
1月				

評価について 考査の成績・課題への取り組み・実験・実習への取り組み（レポートの提出等）・出席状況・授業への取り組み（ノート・プリント・問題集の提出）をもとに、関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能、知識・理解の観点を総合的に評価する。

先生からのアドバイス  
 それぞれの現象を理解し、他の事象との関連を考えながら学習すると理解しやすくなります。また、身近に起きる現象に関心を持ち、新聞やTVのニュースなどを見るようにし、「なぜ」という疑問を持つようにすると理解が深まります。  
 化学は積み重ねの学習であり、授業が進むに従って既習の知識を求められることが多くなりますので、理解の不十分な部分は、自主的に復習しましょう。  
 テストに対しては、用語や原理・法則の名前などをしっかり覚えるましょう。これは授業中に覚える努力をし、テスト1週間前には必ず復習し、テスト直前にやり直すようにしましょう。繰り返しの反復練習をして、問題の解き方やコツを早く体で覚える。計算問題については、有効数字を意識して問題に取り組みましょう。  
 センター試験においては、基礎的なことが出題されるので、基本的な用語の意味や解き方について理解していれば十分対応できるようになります。

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数	
理科	生物	3年	文系1	選択	3	
学習の目標	1. 生物的な事物・事象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を高める。 2. 生物に関する基本的な概念や原理・法則の理解を深める。					
学習の進め方	プリントや資料集、教科書を使って説明し、視聴覚教材の使用や実験・実習を通してそれらを理解し、問題演習等で確認していく。					
使用教材	「生物基礎」(第一学習社) 「生物」(第一学習社) 「三訂版 フォトサイエンス生物図録」(数研出版) 「コンセプトノート生物基礎」(浜島書店) 「セミナー生物基礎+生物」(第一学習社)、プリント 等					
学習計画および学習内容						
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標		
4	生命現象と物質	生体物質と細胞  生命現象を支えるタンパク質  代謝とエネルギー	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内部の構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。</li> <li>様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。</li> <li>生物における代謝の概要を理解する。</li> <li>有機物が作られる仕組みを理解する。</li> <li>有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解する。</li> </ul>		
5	遺伝子のはたらき	遺伝情報の発現  遺伝子の発現調節		<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。</li> <li>遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解する。</li> </ul>		
6		バイオテクノロジー		<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解すること。</li> </ul>		
	生殖と発生	生物の生殖と配偶子の形成		<ul style="list-style-type: none"> <li>減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組合せが生じることを理解する。</li> <li>遺伝子の連鎖と組替えについて理解する。</li> </ul>		
7		動物の発生		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>配偶子の形成及び受精について学ぶ。</li> <li>ウニおよびカエルの発生過程を学ぶ。</li> </ul>	
9		動物の発生のしくみ			<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞の分化や形態形成について誘導現象を中心に理解する。</li> </ul>	

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
10	生物の環境応答	発生をつかさどる遺伝子	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハエの体軸形成に関わる遺伝子を学び、発生における遺伝子のはたらきを理解する。</li> <li>・ホックス遺伝子のはたらきを理解する。</li> <li>・植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学び、器官分化における遺伝子のはたらき</li> <li>・植物は成長を調節するなどして、環境にตอบสนองしていることを理解する。</li> <li>・環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。</li> </ul>
11		植物の発生		
11	生態と環境	植物の環境応答	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受容器で受け取られた刺激が効果器へ伝わる仕組みを理解する。</li> <li>・神経系における情報の流れを理解する。</li> <li>・筋肉の構造と収縮、その他の効果器について学ぶ。</li> <li>・生得的行動、学習行動について学ぶ。</li> <li>・個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。</li> <li>・生態系における物質生産とエネルギーの変化について学習する。</li> <li>・生物多様性に影響を与える要因を理解させ、生物多様性の重要性を認識する。</li> </ul>
		動物の刺激の受容と反応		
		動物の行動		
12	生物の進化と系統	個体群と生物群集	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の起源および生物の変遷を学習する。</li> <li>・生物の進化のしくみを学習する。</li> <li>・生物の系統と分類について理解する。</li> </ul>
		生態系の物質生産とエネルギーの流れ		
		生態系と生物多様性		
1		生命の起源と生物の変遷		
		進化のしくみ		
		生物の系統		
成績・評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言や態度、普段の提出物をもとに、生物や生命現象に対する関心・意欲を評価する。</li> <li>・定期考査や小テストをもとに、基本的な概念や原理・原則の理解度を評価する。</li> <li>・実験・観察時の生物学的な探求活動ができる能力と態度や技能を評価する。</li> <li>・実験観察の際のスケッチやレポートをもとに、報告書にまとめたり、創意工夫する能力についても評価する。</li> </ul>			
先生からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容はその時間中に消化するつもりで集中して取り組みましょう。</li> <li>・基本的に予習は必要のない科目であり、復習や考査勉強は問題集を利用して行いましょう。</li> <li>・基本的な知識を覚えるだけでは対応できないので、「なぜそうなるのか?」「仕組みはどうなっているのか?」ということを理解しましょう。生物現象はお互いに関連しあっていることが多く、図やグラフは大切であるので、それらをしっかり読みとって理解できるまで、学習しましょう。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
理科	生物	3年	文系3	選択	5
学習の目標	1. 生物的な事物・事象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を育成する。 2. 生物に関する基本的な概念や原理・法則の理解を深める。 3. 生命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。				
学習の進め方	プリントや資料集、教科書を使って説明し、視聴覚教材の使用や実験・実習を通してそれらを理解し、問題演習等で確認していく。				
使用教材	「生物基礎」(第一学習社) 「生物」(第一学習社) 「三訂版 フォトサイエンス生物図録」(数研出版) 「コンセプトノート生物基礎」(浜島書店) 「改訂 スタディノート生物」(第一学習社)、プリント 等				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	生物の多様性と生態系 (生物基礎)	植生の多様性と分布 バイオームの多様性と分布 生態系とその保全	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生についてその構造や成り立ちと植生の遷移とその仕組みを理解する。</li> <li>・地球上にある様々なバイオームを知り、その分布が主に気温と降水量で決まることを理解する。</li> <li>・生態系の成り立ちについて理解し、人類が生態系のバランスに大きな影響を与えていることを理解する。</li> </ul>	
5	生命現象と物質	生体物質と細胞		期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞内部の構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。</li> <li>・細胞膜を通して物質を運搬するしくみや細胞を支える構造について理解する。</li> </ul>
6	代謝	細胞膜の働きとタンパク質 さまざまなタンパク質の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。</li> </ul>		
7		代謝とエネルギー 炭酸同化 窒素同化 呼吸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物における代謝の概要を理解する。</li> <li>・有機物が作られる仕組みを理解する。</li> <li>・有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解する。</li> </ul>		
9	遺伝情報の発現	遺伝情報とその発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。</li> <li>・遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解する。</li> <li>・遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解すること。</li> </ul>		
	生殖と発生	有性生殖における遺伝的多様性 動物の配偶子形成 動物の発生における形態形成のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組合せが生じることを理解する。</li> <li>・遺伝子の連鎖と組替えについて理解する。</li> <li>・配偶子の形成及び受精について学ぶ。</li> <li>・ウニおよびカエルの発生過程を学ぶ。</li> <li>・細胞の分化や形態形成について誘導現象を中心に理解する。</li> </ul>		

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
9	生物の環境応答	植物の発生	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハエの体軸形成に関わる遺伝子を学び、発生における遺伝子のはたらきを理解する。</li> <li>・ホックス遺伝子のはたらきを理解する。</li> <li>・植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学び、器官分化における遺伝子のはたらき</li> <li>・植物は成長を調節するなどして、環境に应答していることを理解する。</li> <li>・環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。</li> <li>・受容器で受け取られた刺激が効果器へ伝わる仕組みを理解する。</li> <li>・神経系における情報の流れを理解する。</li> <li>・筋肉の構造と収縮、その他の効果器について理解する。</li> <li>・生得的行動と学習行動等の違いについて理解する。</li> </ul>
10		植物の環境応答		
		動物の環境応答		
11	生態と環境	動物の行動	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個体群や生物群集について、それぞれの特徴を理解する。</li> <li>・生態系における物質生産とエネルギーの変化について理解する。</li> <li>・生物多様性に影響を与える要因と生物多様性の重要性を理解する。</li> <li>・生命の起源および生物の変遷を理解する。</li> </ul>
12		個体群と生物群集		
		生態系の物質生産		
1	生物の進化と系統	生態系と生物多様性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の進化のしくみを理解する。</li> <li>・生物の分類系統について理解する。</li> </ul>
1		生命の起源と生物の変遷		
	生物の系統	進化のしくみ		
	成績・評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言や態度、提出物をもとに生物や生命現象に対する関心・意欲を評価する。</li> <li>・定期考査等をもとに、基本的な概念や原理・原則の基本的な知識の定着度と理解度およびグラフやデータを分析する思考力等を評価する。</li> <li>・実験、観察時の生物学的な探求活動ができる能力と態度や技能を評価する。</li> <li>・実験観察の際のレポートをもとに、結果から導き出される内容を考察する思考力や報告書にまとめる表現力、創意工夫する能力について評価する。</li> </ul>		
	先生からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に予習はあまり必要ありませんが、授業内容はその時間中に理解するつもりで集中して取り組むこと、考えることが大切です。その上で、知識の定着や内容の理解の度合いを確認するために問題演習に取り組むことが大切です。</li> <li>・受験に向けては、基本的な知識をしっかりと理解したうえで、「なぜそうなるのか?」「しくみはどうなっているのか?」ということを考え、互いに関連しあっている生物現象を総合的に理解することも大切です。</li> <li>・受験に向けては、知識はもちろん必要ですが、普段から問題のリード文、設問文、図やグラフなどの情報から必要な情報を読み取る力をつけることが重要です。</li> </ul>		

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
理科	生物	3年	理系	選択	3
学習の目標	1. 生物的事物・事象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を育成する。 2. 生物に関する基本的な概念や原理・法則の理解を深める。 3. 生命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。				
学習の進め方	プリントや資料集、教科書を使って説明し、視聴覚教材の使用や実験・実習を通してそれらを理解し、問題演習等で確認していく。				
使用教材	「生物」(第一学習社) 「三訂版 フォトサイエンス生物図録」(数研出版) 「セミナー生物基礎+生物」(第一学習社)、プリント 等				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	生殖と発生	有性生殖における遺伝的多様性	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>減数分裂のしくみおよび連鎖と組換えについて学び、遺伝的な多様性が生じることを理解する。</li> <li>配偶子形成の過程と受精のしくみを理解する。</li> </ul>	
5		動物の配偶子形成		ウニとカエルを例に複雑なからだをつくりあげる過程を理解する。	
6		動物の発生			
6	生物の環境応答	動物の発生における形態形成のしくみ	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞分化とタンパク質の作用の関係を学び、形態形成が進むしくみを理解する。</li> <li>細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解する。</li> </ul>	
7		植物の発生		植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解する。	
9		植物の環境応答			
10	生物の環境応答	動物の環境応答	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物による環境の変化に対する応答を学習し、関係する物質のはたらきを理解する。</li> <li>動物は、光や音などの刺激を手がかりに、情報を得、その情報を処理して正確ですばやい反応を引き起こしていることを理解する。</li> <li>ニューロンの基本的な構造とそのはたらきを理解する。</li> <li>刺激に対する動物の行動について、神経のはたらきを中心に理解する。</li> </ul>	
10		動物の行動			

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
11 9 12 1	生物の進化と系統  生物の系統  まとめと演習	生命の起源と生物の変遷  進化のしくみ  生物の分類の変遷と系統	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の起源と化学進化を学び、生物の変遷と進化について理解する。</li> <li>・生物の変遷が起こる原因や、進化のしくみの考え方を理解する。</li> <li>・生物が進化してきた筋道を考え、様々な生物の関係性を理解する。</li> <li>・系統に基づく分類様式を理解する。</li> <li>・演習を通し、グラフやデータを読み取る力を身につける。</li> </ul>
成績・評価について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言や態度、提出物をもとに生物や生命現象に対する関心・意欲を評価する。</li> <li>・定期考査等をもとに、基本的な概念や原理・原則の基本的な知識の定着度と理解度およびグラフやデータを分析する思考力等を評価する。</li> <li>・実験、観察時の生物学的な探求活動ができる能力と態度や技能を評価する。</li> <li>・実験観察の際のレポートをもとに、結果から導き出される内容を考察する思考力や報告書にまとめる表現力、創意工夫する能力について評価する。</li> </ul>		
先生からのアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に予習はあまり必要ありませんが、授業内容はその時間中に理解するつもりで集中して取り組むこと、考えることが大切です。その上で、知識の定着や内容の理解の度合いを確認するために問題演習に取り組むことが大切です。</li> <li>・受験に向けては、基本的な知識をしっかりと理解したうえで、「なぜそうなるのか?」「しくみはどうなっているのか?」ということを考え、互いに関連しあっている生物現象を総合的に理解することも大切です。</li> <li>・受験に向けては、知識はもちろん必要ですが、普段から問題のリード文、設問文、図やグラフなどの情報から必要な情報を読み取る力をつけることが重要です。</li> </ul>		

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
理科	地学	3年	文系1	選択	3
学習の目標	1. 地球や宇宙の歴史的あるいは空間的な広がりの中における自己の位置を確認させ、自己の重要性を認識させる。 2. 数々の自然現象や物質に対して、そのものがそこにある、あるいはそのような現象が出現する過程を実験、実習作業を交え理解させる。 3. 物事や事象に対する的確で正確な判断力を養うと同時に、地学的な考え方の習得を目指す。				
学習の進め方	教科書やプリントを使い説明をし、視聴覚教材の使用、実習・実験をしながらいろいろな現象を理解し、問題演習等で確認していく。地学基礎で使用した問題集も使用し、基本的な事項を整理していく。				
使用教材	「地学 改訂版」(啓林館) 「ネオパルノート地学基礎」(第一学習社) 「ベストフィット地学基礎」(実教出版) 「ニューステージ地学図表」(浜島書店) 「センサー地学基礎」(啓林館)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4 5	固体地球の概観と活動	地球の概観と活動	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の内部構造を理解する。</li> <li>地球の形・大きさについて説明できる。</li> <li>重力について理解する。</li> <li>アイソスタシーの問題が解ける。</li> <li>地磁気について理解する。</li> <li>太陽風の地球磁気圏の関係を理解する。</li> <li>重力や地磁気に関する問題が解ける。</li> </ul>	
6		プレートテクトニクス 地球の活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>プレートテクトニクスを理解する。</li> <li>地震の活動や分布について理解する。</li> <li>火山の活動や分布について理解する。</li> <li>岩石について種類や成因を覚える。</li> <li>鉱物について理解する。</li> <li>変成作用や火山・地震・岩石・鉱物に関する問題が解ける。</li> <li>変成作用と変成岩について理解する。</li> </ul>	
7 8	地球の歴史	地表の変化と地層	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の誕生と変化を理解する。</li> <li>地球環境の変化を理解する。</li> <li>地質時代の区分について覚える。</li> </ul>	
9		地球・生命・環境の歴史		<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の誕生と進化について理解する。</li> <li>各地質時代の代表的な生物を覚える。</li> </ul>	
10	大気と海洋	私たちの日本列島 大気の構造	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島の構造について理解できる。</li> <li>大気の構造について理解できる。</li> <li>気象に関わる問題が解ける。</li> </ul>	

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
11	宇宙の構造	大気の運動	期末考査	・対流圏の大気運動について理解する。
		海洋と海水の運動		・海水の性質について理解する。 ・海流について理解する。
12		気候変動と地球環境		・気候変動やそれにともなう環境問題について知る。
1		太陽系の天体		・太陽の構造について理解する。 ・惑星の特徴について理解する。 ・太陽系の天体について覚える。
	課題研究	恒星の性質と進化		・恒星の誕生から死の過程を理解する。 ・恒星の観測手段について知る。 ・恒星までの距離を測定する方法を理解する。
		銀河系と宇宙		・宇宙の構造を知る。 ・宇宙の誕生やこれからの宇宙について知る。
		課題を設定し、それについて調査研究する		・課題を見つけることができる。 ・課題を解決する方法を見つけることができる。 ・課題を解決することができる。 ・レポートの提出
成績・評価 について	<p>考査の成績・課題への取り組み・実習への取り組み（レポートの提出等）・出席状況・授業への取り組み（ノート・問題集の提出等）をもとに、関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能、知識・理解の4観点を総合的に評価する。</p>			
先生からの アドバイス	<p>それぞれの現象を理解し、他の事象との関連を考えながら学習すると理解が深まります。（例えば、火山の噴火と地震の関係、火山と岩石など）また、ある現象が起きる原因等を考える習慣を身につけてください。</p> <p>身近に起きる現象（気象現象（台風・竜巻等）、地震、火山活動、天体現象など）に関心を持ち、新聞やTVのニュースなどを見るようにし、「なぜ」という疑問を持つようにすると理解が深まります。また、テストに対しては、地学用語や岩石名、化石の名前などをしっかり覚えましょう。これは授業中に覚える努力をし、テスト1週間前には必ず復習し、テスト直前にやり直すようにしましょう。一部の分野で計算問題が出てくるが、簡単な比の計算程度なので、何回か練習すれば必ずできるようになります。</p> <p>共通テストに対しては、基礎的なことが出題されるので、基本的な用語の意味や現象について理解していれば十分対応できます。それぞれの現象を理解し、他の事象との関連を考えながら学習すると理解が深まります。また、毎年5つの分野（天体、地質・地史、気象・海洋、岩石・鉱物・地球）からそれぞれ出題されているので、それぞれの分野について問題集を2度3度とくり返してやっていけばかなりの得点が取れる力がついていきます。</p>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
保健体育	体育	3	全	必	2
学習の目標	<p>心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。</p> <p>運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>				
学習の進め方	準備運動→活動→後片づけ				
使用教材	各種目の用具、教科書新保健体育（体育編）				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4		・体づくり運動	各種目	・自らの体力・運動能力の現状を確かめさせ、自己のねらいに応じた実生活に生かす運動の計画を立てて取り組む。	
5		【選択Ⅰ】		【選択種目】	
6		・陸上競技		・各種目の特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わえるように、互いに協力して進んで練習に取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、健康・安全に留意するとともに、記録会の大会の運営をしようとする。	
7		・ダンス			
9		【選択Ⅱ】			
10		・サッカー			
11		・ソフトボール			
12		・バレーボール			
1		・体育理論		【体育理論】	
2		豊かなスポーツライフの設計		・スポーツの歴史・文化・ルール、生涯にわたってスポーツを楽しむための考え方等の理論を学ぶ。	
3		【選択Ⅲ】		豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	
4		・卓球		○スポーツは各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があることを学ぶ。	
5		・バドミントン		○生涯にわたってスポーツを継続するためには自己に適した運動機会をもつこと、施設などを活用して活動の場をもつこと、ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方をみつけることが必要であることを学ぶ。	
6		・テニス		○スポーツ振興は様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを学ぶ。	
7		・体育理論		○スポーツを行う際は、スポーツが環境にもたらす影響を考慮し、持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを学ぶ。	
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
成績・評価について	<p>①運動や健康・安全への関心・意欲・態度</p> <p>②運動や健康・安全についての思考・判断</p> <p>③運動の技能</p> <p>④運動や健康・安全についての知識・理解</p>				
先生からのアドバイス	<p>選択授業。男女共修。</p> <p>○自らの体に関心を持って、毎日健康に過ごすためにはどのような運動習慣を身につけるのがよいのかを学んでいきましょう。</p> <p>○自他の安全に配慮して行動しましょう。</p> <p>○生活習慣を整えて毎日を過ごしましょう。（食事、睡眠など）</p> <p>○よい意志決定行動選択ができるようになりましょう。</p> <p>○授業などで学んだことを将来継続して実践するために必要な力を身につけましょう。</p>				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数	
芸術	音楽芸術	3年	文系	選択	2	
学習の目標	これまでの音楽の授業で学習した基礎としながら、芸術としての音楽の奥深さに触れる。多様なジャンルの音楽を学び、その表現活動を通して、技術の向上に努める。また、各国の音楽芸術を鑑賞することにより、文化としての音楽について理解する					
学習の進め方	ワークシートや自作教材を使用する。各時間の目標を設定し、表現活動やグループワークを通して達成できるように取り組む。					
使用教材	ワークシート、自作教材など					
学習計画および学習内容						
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標		
4	常時活動	○ソルフェージュ		・様々なリズムパターンや、基本的な楽譜の書き方を学ぶ。		
	オリエンテーション	○音楽って何だろう  ○生活と音楽 ・サウンドマップ制作 ・生活の中にある音を調査する		・音楽について考えを深め、学ぶ必要性を考える。 ・授業の進め方や表現方法について理解する。  ・身の回りにある音を調べ、サウンドマップを作る。 ・生活の中で音楽がどのような役割をしているか学ぶ。		
5	歌唱	○合唱をしよう (ぜんぶ、いのちのうた)		・各パートで協力して取り組む ・他パートを聞きながら、美しい響きを作る。		
6	器楽	○ボディーパーカッション		実技テスト (発表)	・体を使った表現に興味関心を持つ。 ・グループで協力しながら、強弱や表現方法を工夫し、表現する。	
7	鑑賞	○ミュージカルとオペラを鑑賞しよう		・2つの舞台芸術を比較し、表現の違いや歴史を理解し、鑑賞する。		
9	器楽	○器楽合奏をしよう		実技テスト (発表)	・各楽器の正しい奏法を身に付ける。 ・楽曲を理解し、表現を工夫し演奏する。	
10	鑑賞	○文楽を鑑賞しよう		・義太夫節の特徴を感じ取り、日本の伝統芸能に親しむ。 ・人形遣いと太夫の関係性を知る。		

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
1 1	歌唱	○アカペラをしよう	実技テスト (発表)	・声のみで表現することの楽しさを知り、活かして表現する。 ・グループで協力し、表現に工夫して歌う。
1 2	1年間を振り返って	○1年間で学習したことを確認しよう		・今年度学習した内容が身についているか確認する。
成績・評価について	1. 音楽への関心・意欲・態度（出席状況や授業態度、提出物、行動観察） 2. 音楽表現の創意工夫（ワークシート、実技テスト、行動観察） 3. 音楽表現の技能（実技テスト、ワークシート、行動観察） 4. 鑑賞の能力（ワークシート、行動観察） 以上4つの観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。			
先生からのアドバイス	音楽芸術では、これまでの音楽の授業で学習したことをもとに、多様なジャンルの音楽を学び、表現技術の向上に努めます。また、娯楽や趣味の音楽だけでなく、各国の音楽を鑑賞することにより、文化としての音楽という側面についても理解を深めていきます。この授業を通して、一生の友となるような音楽に出会ってほしいと思います。 音楽や芸術は、人生を豊かにしてくれます。仲間と協力して、みんなで美しいハーモニーを響かせましょう♪			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
芸術	素描・油彩	3年	文系2	選択	2
学習の目標	素描や油彩による造形活動を通して美的体験を豊かにし、生涯を通じて美術を愛好する心情を育てると共に、美術文化や歴史について正しく理解し、美術の能力をさらに高める。				
学習の進め方	はじめに学習の内容や目標について詳しく説明し、その後制作活動を行う。毎時間の目標にそって計画的に制作を進める。主にモノのとらえ方や描写技術の向上を目指す。				
使用教材	自作教材				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4月	オリエンテーション 鉛筆デッサン	素描・油彩の学習内容、評価、心構えについて理解する。 参考資料の内容を理解する。 立体の構造や、視点による見え方を理解すると共に、デッサンの手順や用具について正しく理解する。 幾何形体や単純な構造のモチーフをデッサンする。 より複雑な構造や、材質のモチーフをデッサンし、形のとらえ方や質感の違いを表現する。  デッサンについての正しい知識と理解度を確認する。		素描・油彩の学習内容に興味関心を持つ。 美術におけるデッサンの重要性を理解する。デッサンとは単なる写生ではなく、三次元の立体を二次元の平面に再構成することを理解させる。  複雑な形も、基本的な形の組み合わせであることに気付かせる。 様々な質感の違いを表現させ、表現方法の多様性や可能性を学ばせる。 学習内容の定着を図る。	
7月	テンペラ (古典技法)	美術文化の歴史を学び、油彩画が描かれるより前に存在した古典技法を用いて描くことにより、絵具の特徴を理解し、多様な美術の在り方や編成を理解する。		油彩が確立された歴史的な背景を理解させると共に、油彩の特性や表現方法の多様性に気付かせる。 使用する絵の具の色数を限定することによって、混色の方法や色の仕組みについて理解させる。	
9月					
10月	油彩画 I 静物	油彩の手順や使い方を学び、油彩作品を創る。過去の生徒作品などを参考にして、色彩やマチエールについて自分らしい表現を工夫する。		油彩の特性や表現方法を十分に理解し、自分らしい表現を工夫することができる。 最終学年にふさわしい完成度の高い作品ができるようにする。	
11月					
12月	鑑賞・まとめ	自分や他人の作品を鑑賞する。 油彩についての学習内容を確認する。		他者の個性を理解し、美術を鑑賞する能力と、美術を愛好する心情を養う。	
1月					
成績・評価について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美術への関心・意欲・態度（出席状況や授業態度、作品、行動観察）</li> <li>2. 発想や構想の能力（作品、実技テスト、行動観察）</li> <li>3. 創造的な技能（作品、行動観察）</li> <li>4. 鑑賞の能力（ワークシート、行動観察）</li> </ol> 以上4点の観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。				
先生からのアドバイス	評価は、作品の評価だけではなく、内容の理解度も問われます。1学期の終わりにはテストも実施しますので、説明などはしっかりと聞いて内容の理解に努めましょう。 作品が未完成の場合はできたところまでで採点されます。その分評価は低くなりますので、毎時間計画的に取り組み、完成した作品が提出できるようにしよう。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
芸術	書道芸術	3年	文系クラス	選	2
学習の目標	1 社会に出て実用的に用いることの出来る書式の書き方を知り、実践できるようになる。 2 創意工夫した作品制作を通して自己表現の達成感を味わい、書を愛好する心を育てる。				
学習の進め方	プリント等の教材を使用しながら、その時間の目標を達成するために自分で考え工夫しながらすすめる。				
使用教材	漢字仮名交じり詩句プリント、ペン字自作プリント等				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4 5 6	硬筆の学習	硬筆～美しい書き方のポイント ・平仮名 ・漢字 ・ペン字 実用書式の書き方  ・卒業式看板製作		・硬筆での文字を美しく見せるポイントを理解し、日常で実践できるようになる。 ・自己推薦書・礼状などの実用書式の書き方を知る。 縦書き・横書き書式の美しいまとめ方を習得する。	
9	漢字仮名交じりの書	好きな言葉を書こう ・他字数作品のまとめ方 ・書風とイメージの関係  ・卒業アルバムキャプションを書こう		・様々な作品の構成を知り、体験する。 ・書風(文字のスタイルや運筆の変化)によって作品のイメージがいかに変化するかを知る。	
10	創作作品制作	日常を彩る書の作品を作ろう ・缶バッチ ・携帯ケース ・トートバッグなど		・愛着をもって身に着けられる作品制作を通して、自己の求める表現を探り、その方法を見つける。	
12	終了制作	パネル作品制作 ・好きな言葉を好きな表現・技法で書く ・裏打ちをし、パネルに仕上げる。		・紙・墨・技法・書体等、全ての制作方法を自ら選択し、自らの表現で記念に残る作品を制作する。	
成績・評価について	・以下の4つの観点で提出物を評価し、その合計で成績をつける。 (知識・理解) 単元ごとのねらいを理解し、取り組んでいるか。 (技能) ねらいにそった用筆や構成で作品が制作できたか。 (思考・判断・表現) 自身の思いを書をとおして表現しようと工夫できたか。 (関心・意欲・態度) 取り組む姿勢を点数化したり減点したりはしない。ただし制作中の意欲を作品の評価に加味することはある。				
先生からのアドバイス	「書道芸術」では、‘日常生活で生かせる書’をテーマに、①ここ一番でばっちりかける硬筆②日常を彩る書の作品の2本の柱で書活動を行います。 自らの文字を、自信をもって書けるようになっていたり、愛着をもって接することができるような作品を作れるようになってもらえたらと思います。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
家庭	ライフデザイン	3年	文Ⅱ	選択	2単位
学習の目標	<p>1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえながら、乳幼児期の特徴と課題について理解させる。また、生活に関する基礎的・基本的知識と技術を総合的に修得することによって、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>2. 高校卒業後の社会生活の中で、人とつながり共に支え合って生活することの重要性について認識させつつ、生涯を見通して主体的に生活を営む力を身につける。</p>				
学習の進め方	内容は食生活・子どもの発達を中心に取り上げ、生活を創造しデザインできるように 自主プリントを用い、視聴覚教材や実験・実習を取り入れ授業を進めていく。				
使用教材	自主教材プリント <使用教材> 生活ハンドブック 資料&成分表 (第一学習社)：2年生時使用				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	子どもの育つ力を知る	・子どもの育ちをみつめる		・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。	
5	乳幼児の発達	・乳幼児の身体的・精神的発達の特徴		・乳幼児期は、親を中心とした身近な人とのかかわりにより心が安定し、考え方・感じ方・行動の仕方が発達していくことを理解している。	
6	こどもにとっての遊び	・子どもの遊びと発達の関連性 ・子どもの遊び体験 絵本・紙芝居読み聞かせ 壁面構成 ・作品製作		・様々な児童文化にふれる。 ・子どもの成長発達に合った児童文化財遊具や被服を製作できる。 【関心・意欲・態度】【技能】 【思考・判断・表現】	
7	親として共に育つ	・乳幼児の生活と健康管理		・乳幼児の生活の特徴と発育発達に応じた養護について理解している。 【知識・理解】	
	これからの保育環境	・こどもの育つ環境		・様々な保育の場を知り、それぞれの特徴や役割を理解している。 【知識・理解】	
		・こどもの権利と福祉		・現代の子育て環境の問題点に気付き、子どもの権利・福祉と地域社会とのかかわりについて理解している。 【知識・理解】【思考・判断・表現】	
			期末考査		

学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
9	衣生活をつくる	・被服実習	期末考査	・基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができるようになる。 【技能】	
	食生活をつくる	・調理の目的 ・食事の意義と役割		・調理実習を行うための基本的事項を習得している。【知識・理解】	
	食品の衛生と安全			・食品の衛生的な取り扱いと、安全性を理解している。【知識・理解】	
10	調理の基礎	・調理実習 ・実習レポート記入		・出汁、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等、おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせるようになる。 【知識・理解】【技能】	
11				【思考・判断・表現】	
12				・様々な食品の栄養的特徴や調理上の性質を理解し、食事計画や調理に生かせる。 【関心・意欲・態度】 【知識・理解】【思考・判断・表現】	
1				・食事の意義と役割を理解するとともに豊かな食事を構成する要素として、栄養、食品、様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識や技術を習得している。 【関心・意欲・態度】【知識・理解】 【技能】【思考・判断・表現】	
成績・評価について	考査の成績・課題への取り組み・実験・実習への取り組み（レポート・作品の提出等）、出席状況、授業への取り組み（プリントの提出等）、班活動の取り組みを総合的に評価する。				
先生からのアドバイス	2年生で履修・修得した『家庭基礎』は、生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を生活者の立場から総合的・体験的に習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と態度を育てることを目標に学習しました。本科目では、さらにこの学習を応用・発展させ、高校卒業後の社会生活の中で主体的に生活できる能力を高めるために、実験・実習中心の授業内容とします。実験・実習を通して、自分で考え、行動し、考察する（Plan・Do・See）ことの重要性、周囲と協力することの必要性を学びながら、作品が完成した後の充実感、満足感、喜び、達成感、緊張感を十分に味わって欲しいと思います。机上の学習ばかりではなく、自分が動かないと何も始まらない実習を重ねることで、実践力を身に付けていきましょう。そして、自分の生活に生かしてほしいと思います。なお、提出物の配点が大きいので、必ず提出しましょう。				

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3年	全員	必修	4
学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習の進め方	多様なジャンルの題材について速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、読み取った内容を土台にした言語活動をペアやグループ活動で行う。				
使用教材	「Revised BIG DIPPER English Communication III」(数研出版) 「改訂版 BIG DIPPER English Communication III ベーシックノート」(数研出版) 「改訂版 BIG DIPPER English Communication III ワークブック」(数研出版) 「LISTENING ACE 10 UPGRADED」(美誠社)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	Lesson 1	The History of Ekiben	課題テスト	言い換え表現ができるようになる。	
	Lesson 2	Three Tips for Maintaining a Conversation		追加・列挙を表す表現ができるようになる。	
	Lesson 3	Do You Judge People by Their Blood Types?		例示の表現ができるようになる。	
	Lesson 4	My Opinion of Zoos		討論でよく使う表現ができるようになる。	
5	Lesson 5	The 55-Year Race	中間考査	時間的順序を表す表現ができるようになる。	
	Lesson 6	After the Flowers		因果関係を表す表現ができるようになる。	
	Lesson 7	Online Word-of-Mouth		ウェブサイトの文章形式を理解ができるようになる。	
6	Lesson 8	Kintsugi	期末考査	本文全体の構成・各パラグラフがはたす役割の理解ができるようになる。	
	Lesson 9	Alfred Nobel: A Person of Peace		譲歩の表現ができるようになる。	
	Lesson 10	Art on Display		スキミングの方法の習得。	
	Lesson 11	Keys to Winning		文章全体の構成・各パラグラフの役割を把握しながら、英文を読む。	
7	Lesson 12	She Sells Seashells by the Seashore		本文に関する感想や意見をクラスメイトに説明することができる。	
	Lesson 13	A New Orchestra and a New Harmony		新聞記事の構成(headline, lead, body)を理解ができるようになる。	

学習計画および学習内容				
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
9	Lesson 14	Swimwear for Speed	中間考査	文章全体の構成・各パラグラフの役割を把握しながら、英文を読む。
	Lesson 15	The Immortal Jellyfish		本文に関する感想や意見をクラスメイトに発表することができる。
	Lesson 16	Antarctica by Cruise Ship		自分が必要とする情報を、スキミングする方法を知っている。
10	Lesson 17	The Shoe That Grows		パラグラフごとに、本文の内容を要約することができる。
	Lesson 18	Let's Try English Presentations!		グラフ・図表から必要な正しい情報を読み取れる。
	Lesson 19	Bottled Water? No Water?		環境・自然に関連する語句の用法。
11	Lesson 20	Endangered Languages		言語・文化に関連する語句の用法を知っている。
	Lesson 21	Left in Space		科学・技術に関連する語句の用法を知っている。
	Lesson 22	アメリカで今も多大な尊敬を集める女性 — 元黒人奴隷にして		要約文の作り方の手順に沿って、本文の内容を約 160 語で要約することができる。
12	Lesson 23	アメリカで今も多大な尊敬を集める女性 — 元黒人奴隷にして奴隷解放運動家ハリエット・タブマンの生涯		期末考査
	Lesson 24	世界規模で起こったミツバチのなぞの大量死(蜂群崩壊症候群), その原因を探る	要約文を作る際に見分ける必要のある「意見や見解を述べる表現」や「事実を示す表現」について知っている。	
1	Lesson 25	なぜ私たちはうそをつくのか。うその種類と、うそをつく理由 顔認識システムの利点と危険性、顔認識技術で変わる現代の生活や社会		対比を表す語句に注意して本文を読み、顔認証システムの利点と危険性について、要点をとらえて理解することができる。
成績・評価について	<p>【年間の学習状況の評価方法】 それぞれの学習状況について、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「表現の能力」、「理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点から評価し、1学期、2学期、3学期の成績を総合的に判断して、年間の学習成績とします。</p> <p>【各学期ごとの評価方法】 課題考査・定期考査、単語テストなどの小テスト、課題・提出物、授業態度等を総合して評価します。</p>			
先生からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を習慣づけよう。</li> <li>・授業に集中しよう。板書だけでなく先生の話聞いてメモする習慣をつけよう。</li> <li>・テキストの音読を、文構造と意味に注意して何回も繰り返そう。</li> <li>・ペアやグループ学習に積極的に取り組み、仲間と学び合うことが当たり前の雰囲気を作ろう。</li> <li>・積極的に発表や質問をしよう。</li> <li>・提出物は不備のないよう確実に作成し、期限をしっかり守って提出しよう。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
外国語	英語表現Ⅱ	3年	全員	必修	2
学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。				
学習の進め方	予習をして授業に臨むように指導する。 教科書やワークブック、副教材を用いて様々な問題を解く。 自由作文を課し、自己表現できるようにする。				
使用教材	「Vision Quest ExpressionsⅡ Hope」(啓林館) 「Vision Quest ExpressionsⅡ Hope Workbook」(啓林館) 「Vintage 3 <sup>rd</sup> Edition」(いいずな書店) 「Vintage 3 <sup>rd</sup> Edition Canvas」(いいずな書店)				
学習計画および学習内容					
月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標	
4	「Vision Quest ExpressionsⅡ Hope」 Lesson 7	修飾語を加える	課題考査	副詞、副詞句、副詞節を使った表現ができる。	
5	Lesson 8	比較を表す		原級、比較級、最上級を使った表現ができる。	
6	「Vintage 3 <sup>rd</sup> Edition」 1章	時制	中間考査	時制に応じた動詞の形が理解できる。	
	2章	受動態		受動態の形が理解できる。	
	3章	助動詞		助動詞の意味と形が理解できる。	
7	4章	仮定法	期末考査	仮定法過去と仮定法過去完了が理解できる。	
9	5章	不定詞		不定詞の3つの用法が理解できる。	
	6章	動名詞		動名詞と時制、受動態を加えた表現が理解できる。	

10	7章	分詞	中間 考査	分詞の「～する」「～される」の使い方が理解できる。
	8章	関係詞		関係詞の形が理解できる。
	9章	接続詞		文章の前後から適切な接続詞を選ぶことができる。
	10章	前置詞		イメージで前置詞が理解できる。
	11章	比較		何と何を比較しているのかを意識しながら比較表現が理解できる。
11	12章	主語と述語動詞の一致	期 末 考 査	述語動詞に対する主語を見つけることができる。
	13章	疑問文		直接疑問、間接疑問が理解できる。
	14章	否定		何を否定しているのか、どの程度否定しているのかを意識しながら適切な否定表現が使えるようになる。
12	15章	語順・省略・強調	倒置の語順、省略において何が省略されているのか、強調構文が理解できる。	
	1	16章	話法	話法の形を理解し、話す内容（命令、依頼、勧誘）に応じて動詞が使い分けられるようになる。
成績 評価 につ いて	予習の状況、授業中の態度、提出物等を加味し、定期考査を中心に、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、言語や文化についての知識・理解の4つの観点から総合的に評価する。			
先生からの アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を習慣づけよう。</li> <li>・ただ書く、写すのではなく、頭を働かせた自宅学習を心がけよう。</li> <li>・音読をしよう。</li> <li>・積極的に発表や質問をしよう。仲間と学び合おう。</li> <li>・提出物は期限をしっかりと守って提出しよう。</li> </ul>			

教科名	科目名	学年	類型	必・選	単位数
外国語	英語演習	3年	文系・理系	選択	2

学習の目標	多様なジャンルの英文に親しんで知識を増やしながらか、読解力を身に着ける。 多様な場面設定に適した表現力を身に着ける。
学習の進め方	長文問題演習を土台に、4技能を活用し、読み取る力や表現力など総合的な英語力を身に着けていく。速読も取り入れ、英文を早く正確に読み取れるようにする。
使用教材	「Elixir 4」(啓隆社)、「Jet Reading」(数研出版)、「Ultimate 総合英語」(啓林館)

学習計画および学習内容

月	学習項目	学習内容	テスト	到達目標
4	Lesson 1~3	「人物(中村哲氏)」 「文明(ナスカ文明)」 「生活(看護師長のエッセイ)」	1学期中間 Lesson 1~3	*人物・文明・生活に関する英文を正確に読むことができる。 *進行形・完了形・助動詞・受動態を理解し、活用することができる。
5				
6	Lesson 4~6	「文化(ストウピング)」 「環境(地球温暖化)」 「生活(指の長さ性格の関係)」		*文化・環境・生活に関する英文を正確に読むことができる。 *準動詞を理解し、活用することができる。
7			1学期期末 Lesson 4~6	
9	Lesson 7~10	「物語(小児科医マサト氏)」 「技術(ドローン技術)」 「動物(サルの思考過程)」 「生活(第一印象とハロー効果)」		*物語・技術・動物・生活に関する英文を正確に読むことができる。 *準動詞・関係詞を理解し、活用することができる。
10				
11	Lesson 11~14	「物語(ドレスメーカーのロビンソン氏)」 「人物(作曲家ジョン・ケージ氏)」 「文化(ハラルフード)」 「言語(英語学習)」	2学期中間 Lesson 7~10	*物語・人物・文化・言語に関する英文を正確に読むことができる。 *比較・仮定法を理解し、活用することができる。
12				
1	Lesson 15	「物語(ハンバーガー販売)」	2学期期末 Lesson 11~14	*物語に関する英文を正確に読むことができる。 *接続詞を理解し、活用することができる。

成績・評価について	「定期考査」「授業態度」「提出物」「出席状況」等を評価材料として、「関心・意欲・態度」「表現の能力」「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点から総合的に評価する。特に、定期考査の点数を重視するので、各自しっかり準備して定期考査に臨むことが大切である。
-----------	---

先生からのアドバイス	3年生では、1・2年で身に着けた英語力をもとに、「英文を正しく、素早く読み取るための reading skill を習得すること」・「多様な場面に適した表現力を身に着けること」を目指す。予習・授業・復習の適切なサイクルを土台にして、実践的な英語力を向上しましょう。
------------	--